



C  B I R D[®]

2002年2月5日

株式会社サイバード
(証券コード: 4823, JASDAQ)
東京都港区虎ノ門4-3-20
問い合わせ先 取締役 吉川 友貞
TEL (03)3431-0111

2002年3月期（第4期） 第3四半期決算資料（連結）

目 次

1 . 企業集団の状況	P- 2
2 . 経営方針	P- 4
3 . 経営成績	P- 7
4 . 資金使途計画及び資金充当実績	P-17
5 . 四半期連結財務諸表等	P-18
6 . 株式の状況	P-25
7 . その他	P-28
8 . リスク情報	P-32
9 . 四半期個別財務諸表等	P-38
10. サイバード IPコンテンツ一覧	添付資料
11. 主なモバイル・ビジネス・ソリューション一覧	添付資料

(注) 当資料に掲載されている商品名、会社名、その他は各社の商標または登録商標です。

1. 企業集団の状況

当連結グループは株式会社サイバード（当社）、子会社1社（株式会社ケイ・ラボラトリー）及び持分法適用関連会社1社（サイバード・コリア）より構成されており、主に、モバイル・コンテンツ事業、モバイル・ビジネス・ソリューション事業、技術関連事業、海外事業の4つの事業を展開しております。

モバイル・コンテンツ事業

インターネット接続が可能な携帯電話及びPHS（以下「携帯電話等」）の公式ポータルサイト向けの有料コンテンツを4移動体通信事業者に対して提供しております。

モバイル・ビジネス・ソリューション事業

モバイルサイト構築等のコンサルティング、企画、開発、運用をクライアントのニーズに応じて請け負い、もしくは共同で実行し、企画・コンサル料、受託開発費、運用費、場合によっては収益の分配を受け取るビジネスを行っております。また、クライアントニーズを先取りしたパッケージ・ソリューションの提供も行っております。

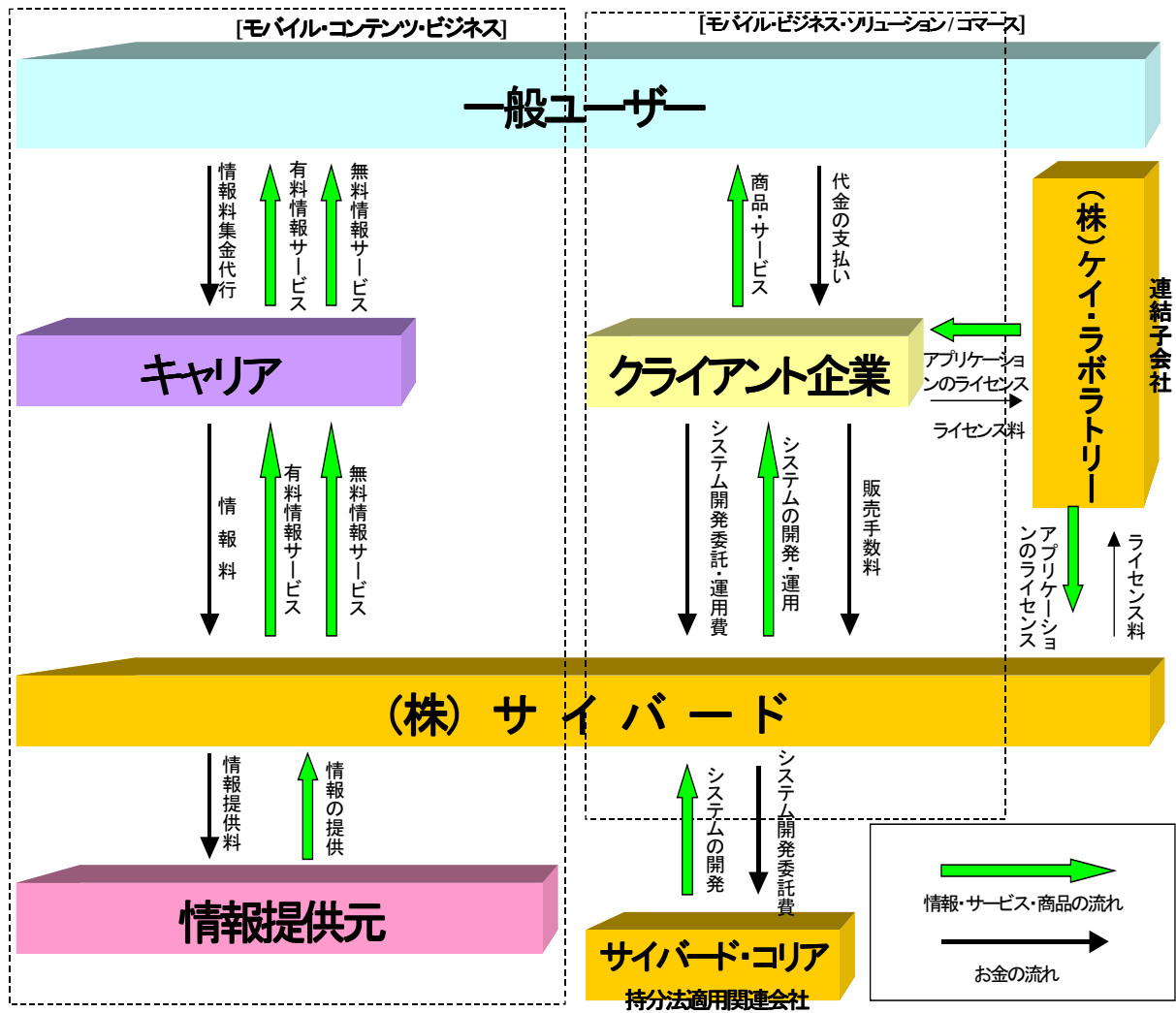
技術関連事業

当社子会社の株式会社ケイ・ラボラトリーは、携帯電話向けのクライアントサイド・ソフトウェアに特化した研究開発企業です。携帯電話向け Java™ 及び BREW™ アプリケーション、組み込みのネイティブアプリケーション、ミドルウェア、ライブラリー、プラットフォーム技術等を開発、ライセンス提供を行っております。

海外事業

当社では、前述3事業の海外における展開を計画もしくは実行しておりますが、それぞれの国のビジネス環境とそのリスクを勘案し、現段階では移動体通信事業者向けワークショップ、コンサルティング及びソリューション提供に注力し、海外事業での主な収益源としております。

なお、当連結グループの事業の系統図は、次のとおりです。



2. 経営方針

1. 経営の基本方針

当連結グループは、以下の事項を経営基本方針として、株主利益の最大化を常に考慮しつつ、“モバイル・インターネットのベストパートナー”として「モバイル・インターネットを通じて新しい価値を創造すること、すなわち新しい社会/生活の仕組みを提案、提供して人々の生活をより便利で豊かなものに変えていくことを事業使命としております。

当連結グループでは、以下の4点をキーワードとして事業推進しております。

(1) 選択と集中の徹底

営業活動全般にわたり参入領域を厳選し、核となるビジネスの強化と、将来の収益源となる新規分野の育成に向けて、経営資源の適正配分を行います。

(2) 環境変化への対応

変化の早いビジネス環境の中で、常に優位性を保つために、普及段階以前における新端末・新技術の研究開発の着手及び技術提携等十分な情報収集活動に基づいた、迅速な事業執行を行うことを重視しております。

(3) 収益性/継続性/拡張性の重視

スピードを重視しつつも、究極的には収益性、継続性、そして拡張性を投資、業務執行の判断基準として最重視しております。一例としては、コンテンツへの明確な投資基準を社内に設け、緻密な収益計算に基づいた経営資源の投入を行っております。

(4) 関係会社とのシナジー効果の強化

当社では、子会社の株式会社ケイ・ラボラトリーが開発したプラットフォーム技術を活用したコンテンツ開発を行うことを計画しております。また、サーバ・サイドの開発と全体プロデュースを当社が行い、クライアント・アプリケーションの開発を同社が担当するという連携によってモバイル・ビジネス・ソリューションの売上拡大を目指しております。

海外関連会社のサイバード・コリアでは、当社事業の韓国での展開のほか、韓国の良質廉価な技術力を利用した当社国内受託案件の再受託開発体制が整いつつあります。

2. 利益配分に関する基本方針

当連結グループは、株主への利益還元を経営上の最も重要な課題の一つとして捉えており、業績の推移、今後の設備等の投資計画、自己資本比率、キャッシュ・フロー等を勘案の上、株主還元策を実施していく所存であります。

但し、利益配当につきましては、通期での利益を計上していないため、無配を継続しておりますが、当面は将来の積極的な事業展開に備えた資金の確保を優先することとし、利益配当は控えさせていただく方針です。

3. 中期的な会社の経営戦略

(1) モバイル・コンテンツ事業戦略

携帯電話等の出荷台数の鈍化、端末プラットフォームの進化等の環境変化に迅速に対応をしつつ、投資リターンを重視しながら収益性の高いコンテンツを選別・投入、あるいはバージョンアップをし、確実な成長を目指します。

(2) モバイル・ビジネス・ソリューション事業戦略

本ビジネス分野では、対企業向けにモバイルの特性を活かしたビジネス・ソリューションの提供を行います。顧客企業に対するコンサルティング、企画、開発、運用等からなるビジネス・ソリューションの他に、パッケージ・ソリューションの開発・販売にも力を入れてまいります。

また、サーバ側技術で蓄積されたノウハウ等の販売も行っており、日々のオペレーションから生まれた活用できる技術を事業化することも検討しております。

(3) 技術戦略

次世代戦略室では、国内外の先進的な技術を持つ企業と、モバイルで今後使われる技術について検討を進めています。特に、ブルートゥース等の要素技術、IPv6等のネットワーク技術の研究を行っており、また、ケイ・ラボラトリーと BREW™等のアーキテクチャ及びプラットフォームについての共同研究も引き続き進めて参ります。

ケイ・ラボラトリーでは、携帯電話に特化したソフトウェア・プラットフォームの研究開発及びライセンスを行っており、携帯電話のみに特化することで、同ソフトウェア・プラットフォームにおけるデファクト・スタンダードを目指します。国内外における Java™ 及び BREW™ 対応携帯端末の普及は、同社の営業機会を広げるもので、同社は、日本市場で先行して蓄積されたノウハウを背景に、海外の主要メーカー、移動体通信事業者及びソフトウェア開発会社との業務提携等を通じて、優位なポジションを確立することにより、海外市場での営業機会も拡げて参ります。

(4) 海外戦略

当社の国際ビジネス部では、日本国内で培った経験・ノウハウをもって、これから拡大が予想される海外市場への展開を目指しています。先ずは、それぞれの国の状況を勘案しながら、海外移動体通信事業者に対するワークショップ、コンサルティング、ソリューション及びコンテンツ提供を中心とした収益の拡大を目指します。

韓国の現地法人サイバード・コリアについては、開発費用面での優位性を活かして受託開発機能を確立・強化していく予定で、同社は当連結グループの海外進出の拠点としてだけでなく、国内市場での当社の受託開発におけるコスト競争力の向上にも寄与すると考えております。

4. 会社の経営管理組織の整備等に関する施策

(1) ガバナンス体制

経営の妥当性を高めていく観点から、内部監査室では、各事業ユニットの業務執行の妥当性、効率性を幅広く検証し、経営に対して助言・提言を行っております。

(2) 人事政策

グループ戦略に基づいた組織設計を行い、戦略的組織が機能する人事戦略策定に努めております。また、人件費のバランスを最適化すると共に、社員の企業家精神を鼓舞し、成果を公正に評価し、社員のモチベーションを高め続けることができる新人事制度の導入に取り組んでおります。

人事評価制度

半年ごとの目標設定とその目標に対する評価を行い、その成果と過程に応じて年俸を定める「半年年俸契約」を軸にして人事評価制度を構築しております。年齢や勤続期間ではなく、業務の成果と過程を測り、年俸を決定することにより、短期間で高い成果を得る組織構築を目指しています。

キャリア採用

環境の変化や早いサイクルでの事業・業務に対応するため、即戦力の人材をターゲットとしたキャリア採用を積極的に行ってまいりました。今後も、マーケットの変化や事業・業務のスピード化に対応すべく、キャリア採用を行い、組織体制の強化と優秀な人材の確保を目指します。

ストックオプション

取締役や従業員の株主の利益に対する意識の向上を図るとともに、業績向上に対する意欲や士気を高めることを目的としたストックオプション制度を導入しており、既に3回付与しております。

(3) 財務戦略

連結業績及びキャッシュ・フローを重視した、グループ経営を押し進めております。また株主利益の最大化を図ることを常に念頭において財務活動を行っております。中期的には、連結ベースで欠損金を解消した上での自己資本利益率(ROE)10%以上の達成を目指します。具体的には、収益性の高いプロジェクトへの人材・資金等の会社資源の優先的投入及び原価・販管費の最適化に努めて参ります。

(4) IR・広報戦略

IR活動は、社内各部門の主要メンバーにより構成された社長直属の組織「IR委員会」の活動を通じ

て、早期情報の収集と横断的な対応を図って参ります。ホームページ内の専用サイトやJASDAQでの月次及び四半期の情報開示を通じて、更なる情報開示の早期化、公平化および充実化を図って参ります。

また、広報・宣伝活動としては、コンテンツ及び企業パブリシティの強化、各移動体通信事業者やメディアと連動したイベント及び講演活動への積極的参加、情報専門誌への広告掲載等、効率的メディアミックスによる露出の拡大を図って参ります。

(5) その他

当連結グループでは、環境問題にも積極的に取り組んでいます。名刺等の再生紙利用や廃紙の回収等に積極的に取り組んでおります。当四半期に達成した二酸化炭素排出抑制量は110.453kg（森林伐採抑制量11本）でした。また、空調稼働時間を短縮し、電力消費量の軽減に努めております。当四半期に短縮した空調稼働時間は約288時間となり、前年同期比約220万円/月のコスト減となっております。

5. 重視する経営指標（ROE及びEVA®）

当連結グループは、自己資本利益率（ROE）を重視する経営指標としております。当四半期における当連結グループのROEは10.5%（年換算）、欠損金を除いた株主拠出金ベースでの当四半期ROEは7.5%（年換算）となっております。

また、当連結グループでは経済付加価値（EVA®）も重要な経営指標として長期的な極大化を目指しております。

今後は、これらの指標の改善に注力することが結果的に株主利益の増大につながるものと考えています。

6. 会社の対処すべき課題

変化の激しいモバイル・インターネット業界において急速に成長してきた当連結グループでは、次の成長を実現する鍵として以下の事項を重視しています。

1. 事業ポートフォリオの分析・評価・見直しによる選択と集中の強化
 - 買収も視野に入れたポートフォリオの選択・強化
 - マーケティングデータに基づいた高収益サイトの開発・改良
 - 「すぐメル™」のような顧客ニーズに応える商品販売力の強化
 - 業界横断的なアプリケーションソフトの開発
2. 戦略的組織を効果的に運営するための管理体制及び人事制度の整備
 - 人事基本ポリシーの見直し
 - 戦略的採用及び人員配置の実施
 - 給与体系・キャリア体系の再構築
 - 人事評価制度の改善
3. 財務指標からビジネスを分析し、意思決定を行う内部コントロール体制の強化
4. 技術開発や新事業立ち上げを含む継続成長のための施策
 - 技術関連事業（ケイ・ラボラトリー）や海外関連事業の、研究フェーズからビジネス・フェーズへの転換
5. 関係会社に対するコントロール力の向上
 - 連結子会社であるケイ・ラボラトリーとのシナジーを活かしたオペレーションの実施
6. リスク管理を含めたガバナンス体制の構築

3. 経営成績

1. 当四半期の概況

まとめ

当四半期における当連結グループの売上高は1,809百万円(前四半期比10.4%増) 経常利益は42百万円(同61.1%減) 四半期純利益は52百万円(同68.0%減)となりました。一株当たり四半期純利益(EPS)は1,721円(前四半期比68.0%減) EBITDAは142百万円(前四半期比42.5%減)となりました。

モバイル・インターネットを取り巻く環境

<国内環境>

日本国内における携帯電話及びPHS(以下「携帯電話等」)の契約数は、2001年9月末現在では7,105万(うちPHS569万)でしたが、2001年12月末現在では7,279万(うちPHS569万)と増加しています。インターネット接続可能な携帯電話等端末の契約者については拡大が続き、2001年12月末現在で5,091万人(うちPHS242万)と、携帯電話等ユーザー全体の69.9%を占め、2001年3月末現在の55.4%、6月末現在の61.9%、9月末現在の66.6%と比べ増加が続いています。(社団法人電気通信事業者協会調べ)

今後も、携帯電話等の契約者数は、2006年3月には89百万人に達すると予測され、うちインターネット接続サービス利用者比率は89%にのぼると予測されています。(野村證券予測、2002年1月)

<海外環境>

2001年末における世界全体での携帯電話加入者数は957百万人に達し(野村證券調べ、2002年1月)また2005年末の携帯電話の加入者数は1,616百万人と予測され(野村證券予測、2002年1月)ています。さらに2006年のネット接続可能な携帯電話の出荷数は全携帯電話出荷数の80%を占めると予想されています。(Allied Business Intelligence 予測、2001年3月)

<新しいプラットフォーム環境>

NTTドコモによるJava™対応携帯端末は、2002年1月27日現在、普及台数は1,121万台と、全iモード端末3,071万台に占める比率が36.5%となりました。J-フォンは、2001年6月22日Java™対応コンテンツのサービスを開始し、2002年1月15日現在で全J-スカイ1,117公式コンテンツの内、297コンテンツがJava™対応となりました。また、KDDIは、2001年7月4日より、Java™技術をベースとした新サービス「ez plus」の提供を開始しました。国内3大移動体通信事業者が、Java™対応携帯端末の販売を開始したことでJava™端末がスタンダードとなってゆくものと思われます。また、2001年1月31日、クアルコムは、より自由度の高いアプリケーション開発プラットフォームBREW™を発表し、KDDIは、BREW™対応端末について2002年3月末までに対応端末を発表し、2002年度中にダウンロード機能などの提供を開始することを表明しました。

またNTTドコモの第3世代携帯電話FOMAについても、限られた利用エリアながら10月よりサービスが開始されています。

当連結グループの事業別概況

<モバイル・コンテンツ事業>

売上高は前四半期より126百万円(8.8%)増加し、1,565百万円となりました。また、当連結グループの売上に占める当事業の売上構成比率は、86.5%(前四半期比1.3ポイント減)となりました。

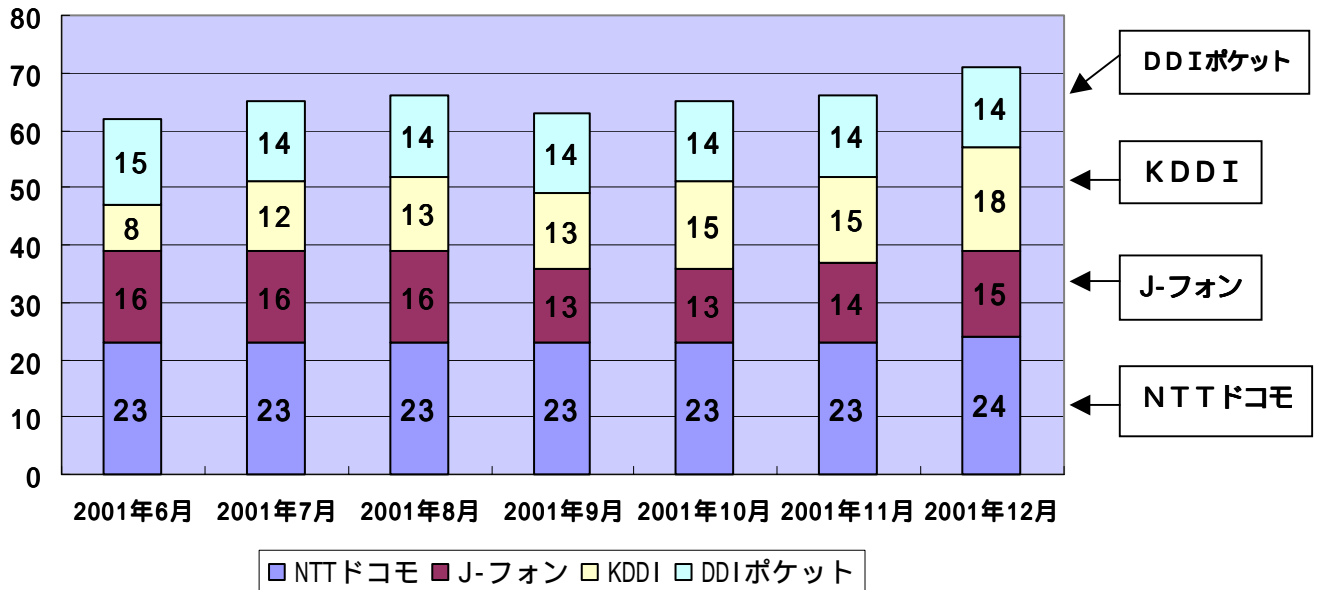
コンテンツ数

当社は、2001年12月31日現在で71の公式コンテンツを運用しています。

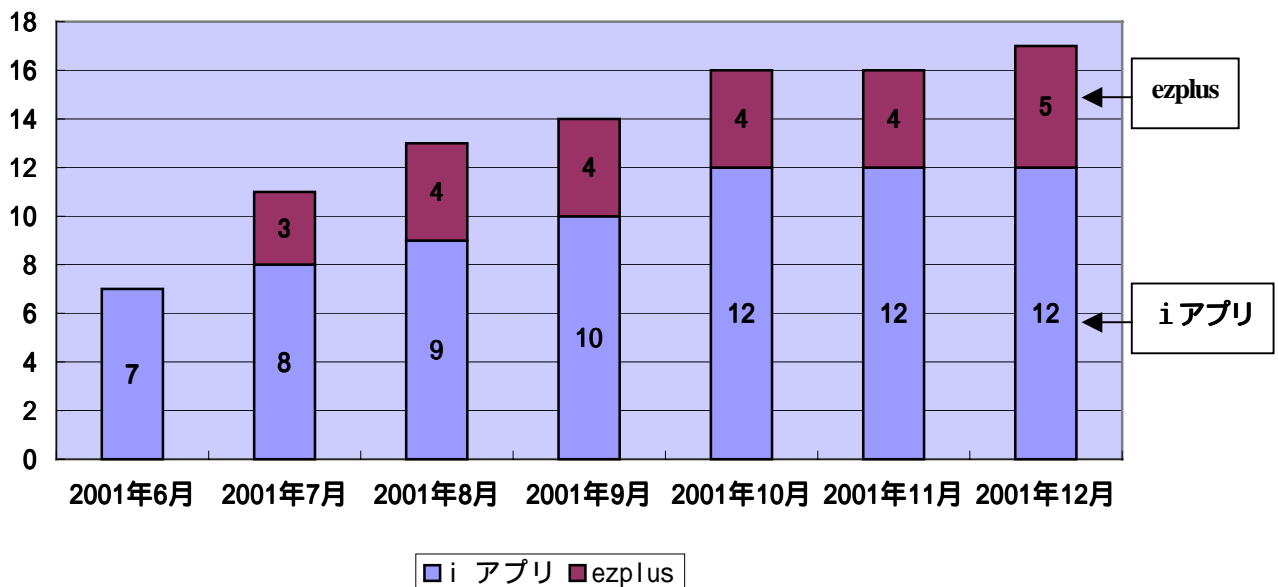
当四半期は、新規コンテンツを8個投入しました。また、Java™対応コンテンツを当四半期中に3個増やしています。なお、第4四半期には新規コンテンツを毎月1~2個投入していく予定です。

(コンテンツの内容につきましては、別添の「サイバードIPコンテンツ一覧」をご覧ください。)

(当社提供国内コンテンツ数の推移)



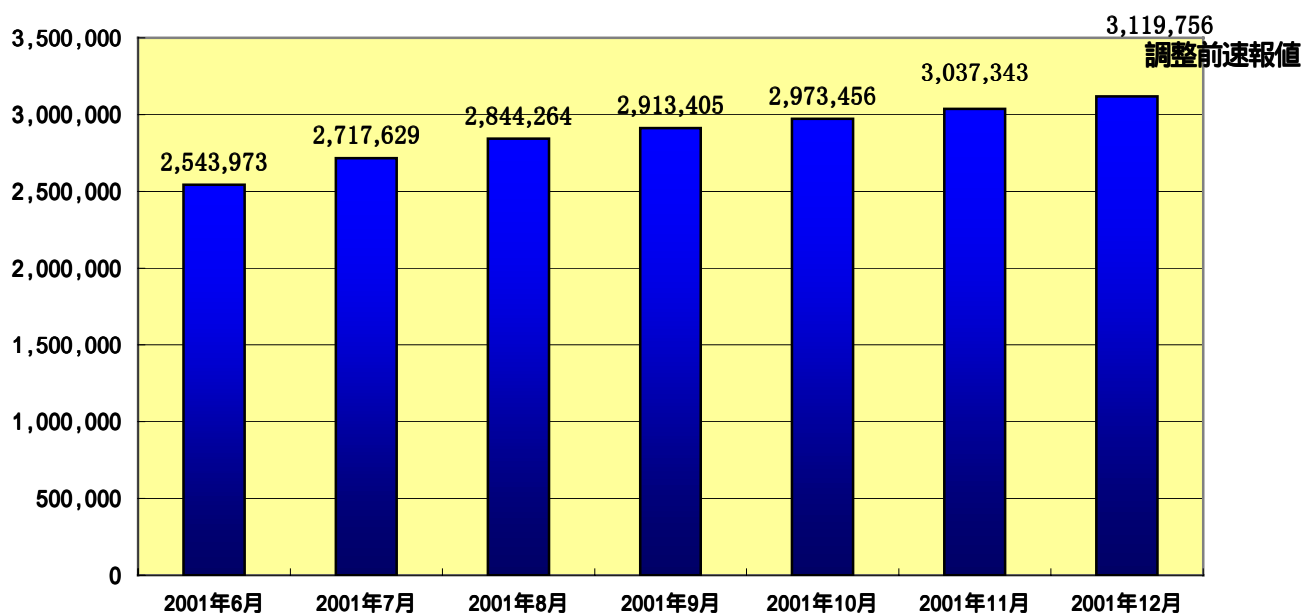
(当社提供国内Java™対応コンテンツ数の推移)



会員数

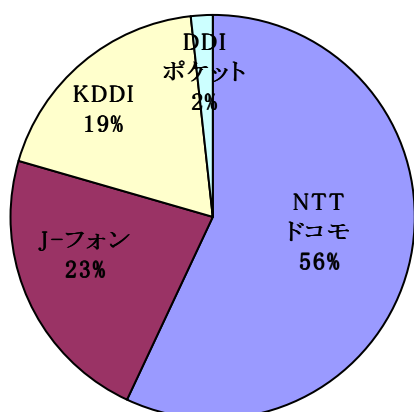
当四半期末現在の登録会員数は、前四半期末から約206千名(7.1%)増加し、3,119千名(調整前速報値)となりました。

(国内コンテンツ登録会員数の推移)

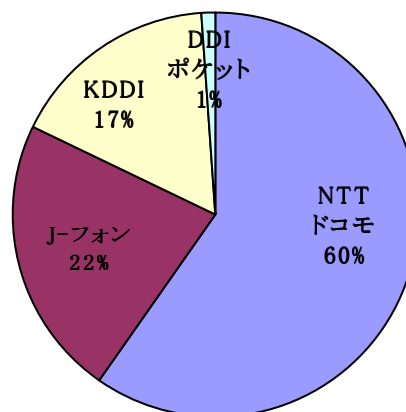


(キャリア別売上構成)

2Q, 2002年3月期



3Q, 2002年3月期



<モバイル・ビジネス・ソリューション事業>

売上高は前四半期より11百万円(7.4%)増加し、171百万円となりました。また、当連結グループの売上に占める当事業の売上構成比率は、9.5%(前四半期比0.3ポイント減)となりました。

当四半期には企業向けマーケティング支援ツール「すぐメル™」のサービスの提供を開始しました。なお、株式会社電通が同サービスの販売(利用権付与)を代理しております。

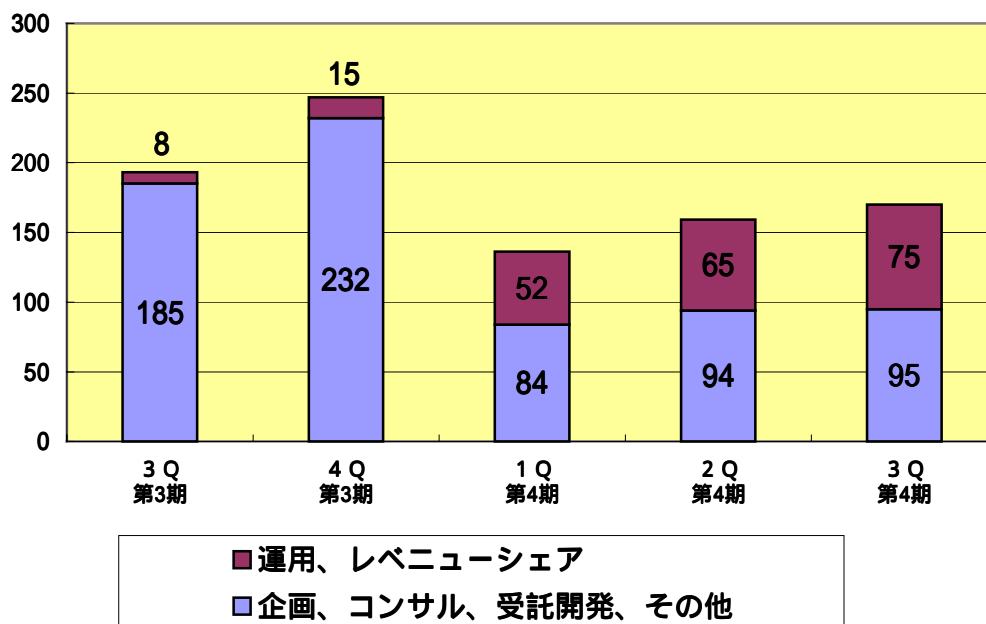
当四半期中の主な事業案件は以下の通りです。

株式会社ファミマ・ドット・コム、株式会社オーエムエムジー、株式会社アコム、株式会社ベネッセコーポレーション向け等に「すぐメル™」サービスを提供。また、ファミマ・ドット・コムには、店頭と携帯電話が連動した抽選システムを開発。

国内金融会社に対し、携帯電話を活用した新規顧客獲得の戦略コンサルティングを受託、提供。(当事業の詳細につきましては、別添の「モバイル・ビジネス・ソリューション一覧」をご覧ください。)

(モバイル・ビジネス・ソリューション事業 売上構成推移)

単位：百万円



<技術関連事業(株式会社ケイ・ラボラトリー)>

当社の連結子会社である株式会社ケイ・ラボラトリーの当四半期の売上は、前四半期より17百万円(23.7%)増加し93百万円となりました。また、そのうち当社に対する売上は45百万円(同社売上構成比率48.3%)となっています。

同社の当四半期の主な事業案件は以下の通りです。

<Java™アプリケーション>

株式会社イマジニアと共同で、iモード公式サイト「ハローキティの超便利メール」(©Sanrio Co., Ltd.)開発サイバードに対し、Java™対応携帯端末向け「ドラクエTV」アプリ、及び新携帯端末向けプリインストールゲームソフト開発

メーカーポータル向けのミニゲーム15本開発

「JavaOne™ コンファレンス Japan」(2001年11月)に、日本企業で唯一、米サンマイクロシステムズ公認テクノロジーパートナーとして参加。

世界初の「リアルタイム・イベントプログラム」をサンマイクロシステムズと共同で実施。5つのJavaOne™公式アプリの企画・開発

サンマイクロシステムズ社と共同で「JavaOne™公式アプリ・サポートセンター」を運営

<その他アプリケーション事業>

技術知識がない広告代理店やWeb構築SI企業向けに、簡易カスタマイズ可能なアプリケーション・パッケージの提供を開始。

携帯電話向けFlashテクノロジーの「K-tai Flash」を発表。

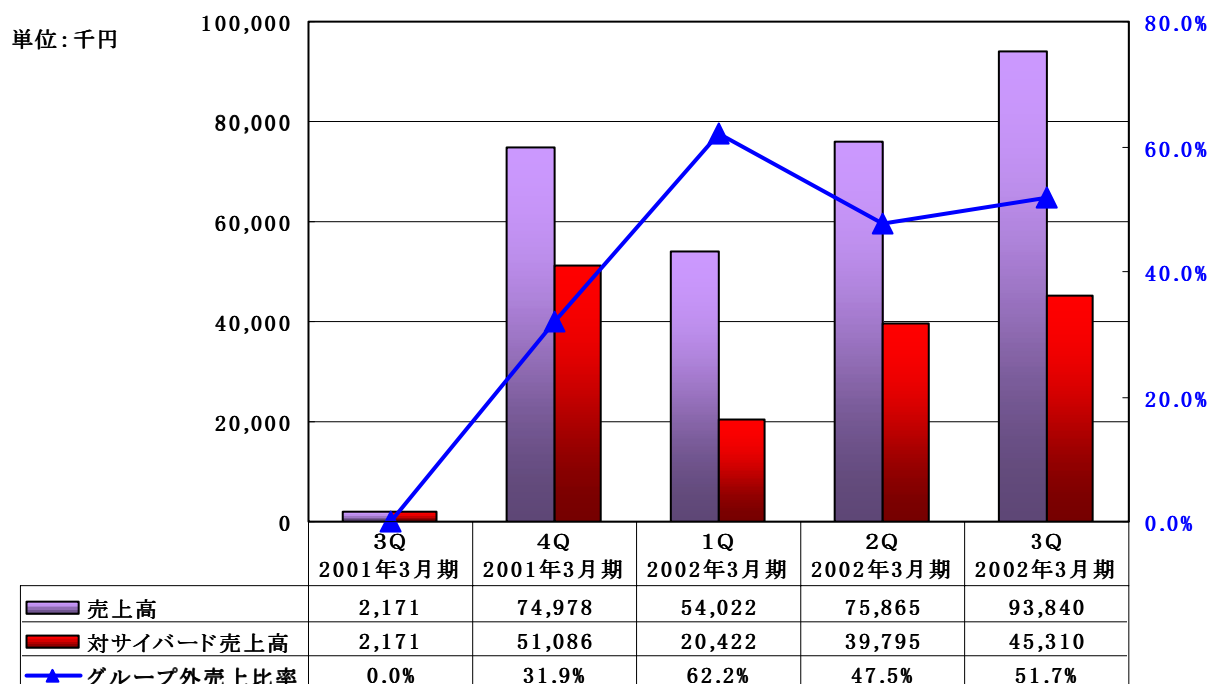
<プラットフォーム事業>

仏ジェムプラスと戦略提携に基本合意し、Java™を搭載した携帯電話とUSIMカード上の各アプリケーションが連携する為に必要なAPI、アプリケーション間通信プロトコルなどの基盤技術を共同開発及びマーケティングを開始。

マクロメディア株式会社と共同で、「Java™搭載携帯電話向けMacromedia® Flash™コンテンツ配信スキーム」を2001年12月より提供開始。

プーマテックジャパン株式会社と包括的業務提携に基本合意し、携帯電話端末間でスケジュール帳などインターネット上の個人データ管理可能になるソフトウェアの開発を開始。

(ケイ・ラボラトリー売上高推移)



<海外事業>

前期から海外におけるモバイル・インターネット市場及び当該市場における顧客の開拓を進めて参りました結果、当四半期の売上は23百万円となりました。

当四半期の主な受注案件は下記の通りです。

New World Mobility (香港) へのコンサルティング

大手通信会社(仏)へのコンサルティング

モバイル・マーケット・レポートの販売

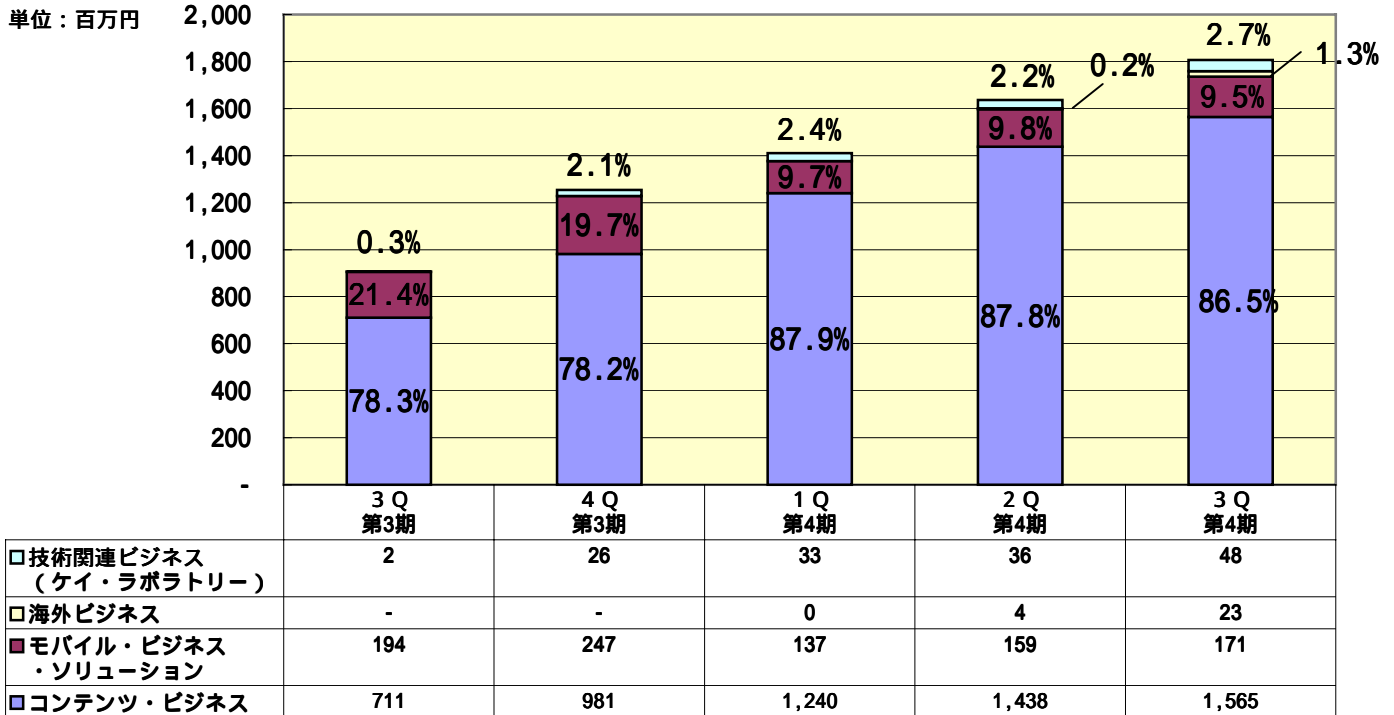
また、持分法適用関連会社である韓国現地法人サイバード・ 코리아においては、日本国内で受注した案件の開発もいくつか行いました。アジアでのモバイル戦略の重要な拠点としての役割だけでなく、当社からの発注に対する価格競争力のある開発受託機能をも備えつつあります。

連結損益計算書

<売上高>

当四半期の連結売上高は1,809百万円となり、対前四半期比170百万円増加(10.4%増)となりました。主な増加要因は、モバイル・コンテンツ売上の堅調な伸びであります。

(売上構成推移)



<売上原価>

当四半期の売上原価は957百万円となり、対前四半期比187百万円増加(24.3%増)となりました。当四半期は、モバイル・コンテンツにおいて新規コンテンツ投入による初期コストが増加、またモバイル・ビジネス・ソリューションにおいて原価率が高めのハードウェア売上の割合が増加したことなどにより、売上総利益率は47.1%と前四半期の53.0%より低下しました。

<販売費及び一般管理費>

当四半期の販売費及び一般管理費は802百万円となり、対前四半期比94百万円増加(13.3%増)しました。その主な内訳は以下のとおりです。

(百万円未満切捨)

費 目	当 四 半 期	前 四 半 期	増 減	
	自 2001 年 10 月 1 日 至 2001 年 12 月 31 日	自 2001 年 7 月 1 日 至 2001 年 9 月 30 日	金 額	増 減 率
	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	(%)
役員報酬	61	62	1	1.9
給与手当	128	100	27	27.6
福利厚生費	21	18	2	15.4
賞与引当金繰入額	10	1	9	568.2
人件費計	200	180	20	11.2
広告宣伝費	122	86	36	42.1
研究開発費	123	124	1	1.3
支払手数料	228	190	38	20.0
賃借料	27	25	1	7.0
その他	100	100	0	0.6
合計	802	708	94	13.3

(人件費)

当四半期の販売費及び一般管理費の人件費は200百万円となり、対前四半期比20百万円増加(11.2%増)しました。これは、連結子会社の事業拡大に伴い連結ベースの従業員数が増加したことによるものです。連結ベースでの従業員数は2001年12月31日現在、201名となっています。

(広告宣伝費)

当四半期の広告宣伝費は122百万円となり、対前四半期36百万円増加(42.1%増)しました。これは、クリスマスやお正月休みに向けて雑誌広告やラジオ・TVコマーシャルにて提供コンテンツの認知度の向上を見込んだ販売促進活動を積極的に行ったことによるものです。

(研究開発費)

当四半期の研究開発費は123百万円となり、対前四半期比で1百万円減少(1.3%減)しました。これは、iアプリ対応端末の増加にあわせコンテンツのJava™化等、現行ビジネスへの注力によりコンテンツの企画研究等が減少したためです。また、海外ビジネスにおいても新規市場開拓の段階から収益獲得の段階へ移行しつつあります。

(支払手数料)

当四半期の支払手数料は228百万円となり、対前四半期比で38百万円増加(20.0%増)しました。これは、主にコンテンツ提供売上の増大に伴い移動体通信事業者に対する代金回収代行手数料が当四半期156百万円と対前四半期比16百万円増加したほか、人材紹介会社への手数料の増加等によるものです。

(賃借料)

当四半期の賃借料は27百万円となり、対前四半期で1百万円増加(7.0%増)しました。これは、主に什器やOA機器のリース料・レンタル料の増加によるものです。

<営業利益>

当四半期の営業利益は49百万円となり、対前四半期比111百万円減少(69.3%減)しました。当四半期は売上の増加以上に、新規コンテンツの初期コストや広告宣伝費などの売上原価や販売費及び一般管理費が増加したことが原因です。

< 営業外損益 >

当四半期は、関連会社であるサイバード・コリアに持分法を適用していることに伴う持分法投資損失 3 百万円が発生したほか、短期借入金の支払利息 2 百万円等が発生しています。

< 経常利益 >

当四半期は、営業利益ベースの収益性下降が起因し経常利益は 42 百万円となり、対前四半期比 66 百万円減少 (61.1%減) しました。

< 四半期純利益 >

当四半期は、特別損益の発生がなく四半期純利益は少数株主損失 11 百万円が加わって、前四半期から 112 百万円減少 (68.0%減) の 52 百万円となりました。

< 1 株当たり四半期純利益 (EPS) >

当四半期の 1 株当たり四半期純利益は 1,721 円となり、前四半期の 5,373 円から減少しました。

なお、当社は、2001 年 8 月 24 日付けで株式 1 株につき 2 株の株式分割を行っておりますが、当期首に分割が行われたものとして期中平均株式数を算出してあります。

< EBITDA (金利・税金・償却前利益) >

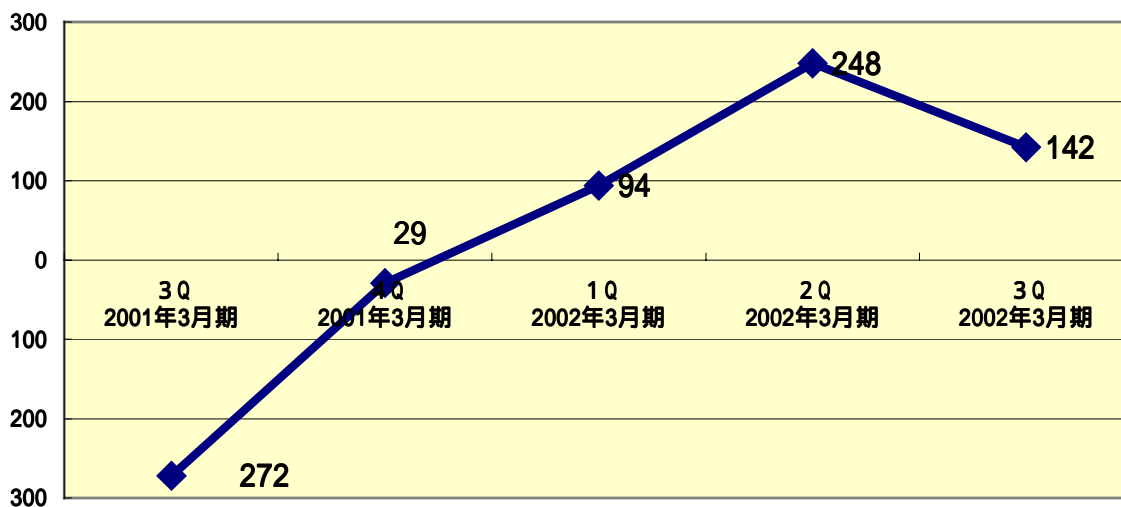
当四半期の EBITDA は 142 百万円となり、前四半期の 248 百万円から 105 百万円減少しました。なお、EBITDA は以下の算式にて算出されています。

(算式)

EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 (有形固定資産・無形固定資産)

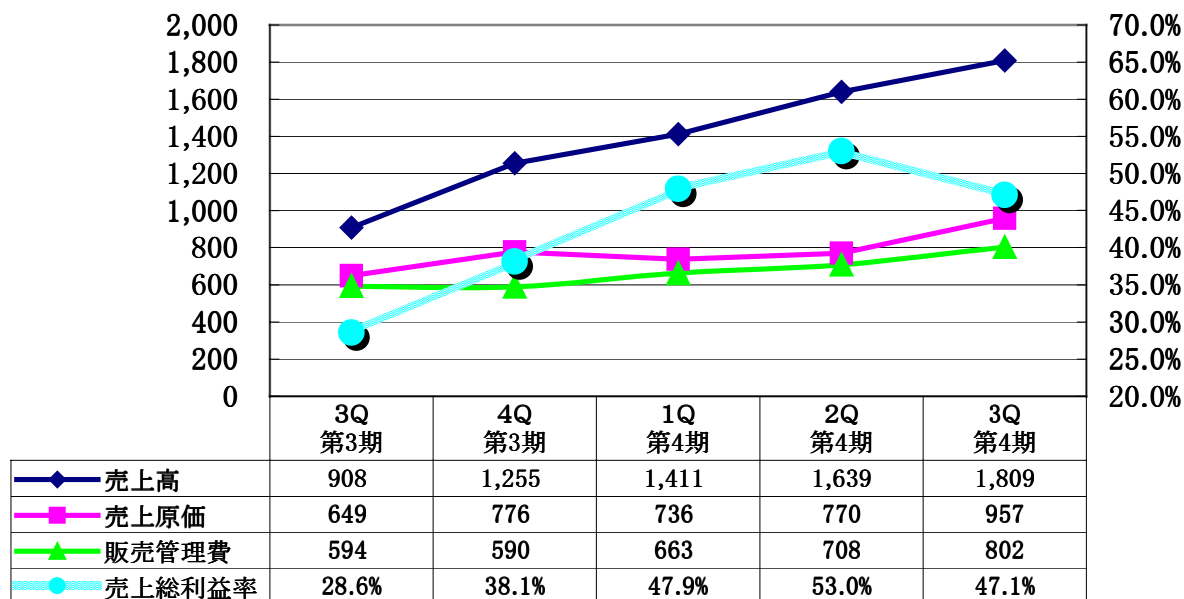
(EBITDA の推移)

単位：百万円



(売上高・売上原価・販売費及び一般管理費・売上総利益率の推移)

単位:百万円



連結貸借対照表

<資産の部>

当四半期末の資産合計は5,182百万円と、対前四半期比では398百万円増加(8.3%増)しました。主な変動項目は、連結子会社における銀行借入200百万円実行による現預金の増加や売上増加に伴う売上債権の増加です。

<負債の部>

当四半期末の負債合計は1,574百万円と、対前四半期比では358百万円増加(29.4%増)しました。対前四半期比における主な変動項目は、前述の短期借入金の増加や、売上原価ならびに販売費及び一般管理費の増加に伴う買掛金や未払金の増加です。

<資本の部>

当四半期末の資本合計は3,591百万円と、対前四半期比では51百万円増加(1.5%増)しました。四半期純利益52百万円による欠損金が減少したほかは特に大きな変動はありません。

連結キャッシュ・フロー計算書

当四半期末の現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、2,213百万円と、対前四半期比では191百万円増加(9.5%増)しました。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

当四半期は、前四半期と比較して営業収入が増加したものの、売上原価・販売費及び一般管理費等も増加したことにより、営業活動の結果得られた資金は87百万円となり、対前四半期比では純収入が58百万円減少しました。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

当四半期は、前四半期のような投資有価証券取得による支出はなく、ソフトウェア取得のための支出が減少したことから、対前四半期比では純支出が83百万円減少しました。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

当四半期は、子会社の短期借入200百万円の実行を主な要因として、財務活動の結果得られた資金は189百万円となりました。

2. 今後の見通し

当連結グループが属するモバイル・インターネットビジネス業界は、事業環境の変化が激しく、合理的な業績予想が困難であるため、業績の予想を控えさせていただいております。

しかしながら、今後とも相応の利益率を確保しつつ、企業価値の極大化を目指す所存であります。また、四半期ごとの詳細な業績開示、ユーザー数・コンテンツ数等の月次開示、及び適時の重要情報開示を行うことにより、投資家の方々の便宜を図ることを心がけてまいります。

4．資金使途計画及び資金充当実績

1．主な資金使途計画

当連結グループは、当下期も営業活動からプラスのキャッシュ・フローを予想しており、十分な手元流動性を確保しております。しかし、変化の激しいビジネス環境において迅速に顧客のニーズに応えるため、追加R&Dや買収のための支出が発生することも想定しております。

2．主な資金充当実績

当連結グループの当四半期末の現金預金残高は2,213百万円と前四半期末に比較して191百万円増加しました。資金の増加は、2001年12月に連結子会社株式会社ケイ・ラボラトリーが銀行より200百万円の借入れを行ったことによるものです。

一方、主な資金の充当実績としては、有形固定資産取得22百万円や新規コンテンツ開発による無形固定資産取得45百万円のほか、出資先でもあるギガ・フロップス株式会社に対して15百万円の短期貸付けを実行しています。

5. 四半期連結財務諸表等

(1) 比較連結貸借対照表(四半期)

(単位: 百万円・単位未満切捨)

期 別 科 目	当 四 半 期 2001年12月31日現在		前 四 半 期 2001年9月30日現在		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
《資産の部》		%		%		%
流動資産						
現金及び預金	2,213		2,022			
受取手形及び売掛金	1,799		1,566			
たな卸資産	33		24			
そ の 他	140		116			
貸倒引当金	87		55			
流動資産計	4,098	79.1	3,674	76.8	423	11.5
固定資産						
(有形固定資産)	145	2.8	135	2.9	9	7.0
(無形固定資産)						
ソフトウェア	575		596			
ソフトウェア仮勘定	15		26			
そ の 他	1		1			
無形固定資産計	592	11.4	623	13.0	30	4.9
(投資その他の資産)						
敷 金	255		255			
そ の 他	91		94			
投資その他の資産計	346	6.7	349	7.3	3	1.0
固定資産計	1,084	20.9	1,109	23.2	24	2.2
資産合計	5,182	100.0	4,784	100.0	398	8.3

期 別 科 目	当 四 半 期 2001年12月31日現在		前 四 半 期 2001年9月30日現在		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
《負債の部》		%		%		%
流動負債						
買掛金	324		265			
短期借入金	700		500			
賞与引当金	-		31			
未払金	490		351			
その他	26		24			
流動負債計	1,541	29.8	1,172	24.5	369	31.5
固定負債						
繰延税金負債	4		5			
長期割賦未払金	27		38			
固定負債計	32	0.6	43	0.9	11	25.5
負債合計	1,574	30.4	1,216	25.4	358	29.4
《少数株主持分》						
少数株主持分	16	0.3	27	0.6	11	39.4
《資本の部》						
資本金	2,405	46.4	2,405	50.3		
資本準備金	2,462	47.5	2,462	51.5		
欠損金	1,280	24.7	1,333	27.9		
その他有価証券評価差額金	6	0.1	7	0.1		
為替換算調整勘定	2	0.0	2	0.0		
資本合計	3,591	69.3	3,539	74.0	51	1.5
負債、少数株主 持分及び資本合計	5,182	100.0	4,784	100.0	398	8.3

(2) 比較連結損益計算書(四半期)

(単位:百万円・単位未満切捨)

期 別 科 目	当 四 半 期 自 2001 年 10 月 1 日 至 2001 年 12 月 31 日		前 四 半 期 自 2001 年 7 月 1 日 至 2001 年 9 月 30 日		増 減	
	金 額	百 分 比	金 額	百 分 比	金 額	増 減 率
売 上 高	1,809	100.0	1,639	100.0	170	10.4
売 上 原 価	957	52.9	770	47.0	187	24.3
売 上 総 利 益	852	47.1	869	53.0	17	2.0
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	802	44.4	708	43.2	94	13.3
営 業 利 益	49	2.7	160	9.8	111	69.3
営 業 外 収 益	0	0.1	0	0.0	0	6.8
営 業 外 費 用	7	0.4	51	3.1	44	85.8
経 常 利 益	42	2.4	109	6.7	66	61.1
特 別 利 益	-	-	48	2.9	48	100.0
特 別 損 失	-	-	1	0.1	1	100.0
税 金 等 調 整 前 四 半 期 純 利 益	42	2.4	155	9.5	113	72.7
住 民 税	0	0.1	0	0.0	0	9.5
法 人 税 等 調 整 額	-	-	-	-	-	-
少 数 株 主 損 失	11	0.6	9	0.6	1	13.7
四 半 期 純 利 益	52	2.9	164	10.1	112	68.0

売上構成

(単位:百万円・単位未満切捨)

期 別 品目別	当 四 半 期 自 2001 年 10 月 1 日 至 2001 年 12 月 31 日		前 四 半 期 自 2001 年 7 月 1 日 至 2001 年 9 月 30 日		増 減	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	増 減 率
コ ン テ ン ツ ・ ビ ジ ネ ス	1,565	86.5	1,438	87.8	126	8.8
モ バ イ ル ・ ビ ジ ネ ス ・ ソ ル ュ ー シ ョ ン	171	9.5	159	9.8	11	7.4
海 外 ビ ジ ネ ス	23	1.3	4	0.2	19	430.7
技 術 関 連 ビ ジ ネ ス	48	2.7	36	2.2	12	34.5
合 計	1,809	100.0	1,639	100.0	170	10.4

(注) 1.上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2.「技術関連ビジネス」とは、主に技術開発・ライセンス事業であります。

(3) 比較連結剰余金計算書(四半期)

(単位:百万円・単位未満切捨)

科 目	当 四 半 期 自2001年10月1日 至2001年12月31日	前 四 半 期 自2001年7月1日 至2001年9月30日
	金 額	金 額
欠 損 金 四 半 期 首 残 高	1,333	1,490
欠 損 金 増 加 高	-	7
持分法適用会社増加に伴う欠損金増加	-	7
四 半 期 純 利 益	52	164
欠 損 金 四 半 期 末 残 高	1,280	1,333

(4) 比較連結キャッシュ・フロー計算書(四半期)

(単位:百万円・単位未満切捨)

科 目	当 四 半 期	前 四 半 期
	自 2001 年 10 月 1 日 至 2001 年 12 月 31 日	自 2001 年 7 月 1 日 至 2001 年 9 月 30 日
	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	42	155
減 価 償 却 費	93	87
賞与引当金の増減額	31	31
貸倒引当金の増減額	32	14
受取利息及び受取配当金	0	0
支 払 利 息	2	1
持分法による投資損失	3	49
投資有価証券売却益	-	4
持 分 変 動 利 益	-	43
固 定 資 産 除 却 損	-	1
売上債権の増減額	232	241
たな卸資産の増減額	8	3
仕入債務の増減額	58	45
未払金の増減額	134	43
未収消費税等の増減額	-	40
そ の 他	7	25
小 計	89	147
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	2	2
法人税等の支払額	-	0
営業活動によるキャッシュ・フロー	87	145
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産取得による支出	22	5
無形固定資産取得による支出	45	86
投資有価証券取得による支出	-	42
敷金差入れによる支出	0	2
短期貸付けによる支出	15	30
そ の 他	2	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	85	169
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	200	500
割賦未払金返済による支出	9	9
少数株主の株式引受による払込額	-	63
そ の 他	0	1
財務活動によるキャッシュ・フロー	189	552
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額	191	528
現金及び現金同等物の四半期首残高	2,022	1,494
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,213	2,022

<p>(4) 重要なリース取引の処理方法</p> <p>(5) その他四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項</p>	<p>賞与引当金 従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、賞与支給見込額に基づき計上しております。</p> <p>連結会社は、リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。</p> <p>消費税等の会計処理 税抜方式によっております。</p>
<p>5. 四半期連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲</p>	<p>四半期連結キャッシュ・フロー計算書における資金（現金及び現金同等物）は、手許現金及び随時引き出し可能な預金からなっております。</p>

6. 株式の状況

1. 会社が発行する株式の総数 61,360 株 (2001 年 9 月 30 日現在)
2. 発行済株式の総数 30,680 株 (2001 年 9 月 30 日現在)
(注) 2001 年 7 月 4 日を基準日とし、8 月 24 日付をもって額面株式 1 株につき 2 株の割合をもって株式分割をいたしました。
3. 完全希薄化後株式数 33,021 株 (2001 年 9 月 30 日現在)
(ストックオプション未行使分 2,341 株考慮)
4. 株主数 1,174 名 (2001 年 9 月 30 日現在)
5. 大株主 (2001 年 9 月 30 日現在)

株主名	当社への出資状況		当社の当該株主への出資状況	
	持株数	持株比率	持株数	持株比率
	株	%	株	%
堀主知口パート	4,206	13.70	-	-
岩井陽介	2,112	6.88	-	-
真田哲弥	2,100	6.84	-	-
オムロン株式会社	1,800	5.86	-	-
オムロンエンタープライズ株式会社	1,780	5.80	-	-
立石知雄	1,404	4.57	-	-
ILIL比°-IPII・カステイ	1,300	4.23	-	-
伊藤忠商事株式会社	1,260	4.10	-	-
株式会社らうむず	1,260	4.10	-	-
中島謙一郎	1,200	3.91	-	-
インテル・パシフィック・インク	1,045	3.40	-	-
株式会社電通	600	1.95	-	-
株式会社リクルート	600	1.95	-	-

6. 株主分布状況 (2001 年 9 月 30 日現在)

区分	株式の状況						
	政府及び 地方公共 団体	金融機関	証券会社	その他の 法人	外国法人等 (個人含む)	個人その 他	計
株主数	-	9名	-	52名	34名	1,079名	1,174名
所有株式数	-	563株	-	8,597株	6,026株	15,494株	30,680株
株式数比率	-	1.84%	-	28.02%	19.64%	50.50%	100.00%

7. 地域別分布状況 (2001 年 9 月 30 日現在)

区分	地域別分類									
	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	外国	計
株主数	12名	25名	537名	178名	255名	51名	30名	53名	33名	1,174名
所有株式数	17株	64株	19,180株	542株	4,488株	135株	81株	153株	6,020株	30,680株
株式数比率	0.05%	0.21%	62.52%	1.77%	14.63%	0.44%	0.26%	0.50%	19.62%	100.00%

8. 少数特定者持株数 (2001 年 9 月 30 日現在) 18,422 株 (60.05%)
(1 ~ 10 位持株合計 + 11 位以下役員持株数)

- 9 . 浮動株数 (2001年9月30日現在) 3,948株 (12.86%)
(50株未満保有株主の保有株数)
- 10 . 投資信託持株数 (2001年9月30日現在) 197株 (0.64%)
- 11 . 年金信託持株数 (2001年9月30日現在) 120株 (0.39%)
- 12 . 役員持株数 (2001年9月30日現在) 11,022株 (35.92%)

13 . 資本金、株式数の推移

年月日	発行済株式数		資本金 (千円)		資本準備金 (千円)		摘要
	増減	残高	増減	残高	増減	残高	
1998年9月29日	1,800	1,800	90,000	90,000	-	-	設立、発行価格50,000円
1999年11月23日	200	2,000	50,000	140,000	50,000	50,000	有償・第三者割当 (投資会社) 発行価格500,000円、資本組入額250,000円
1999年12月30日	200	2,200	50,000	190,000	50,000	100,000	有償・第三者割当 (中島謙一郎) 発行価格500,000円、資本組入額250,000円
2000年1月29日	200	2,400	50,000	240,000	50,000	150,000	有償・第三者割当 (投資会社) 発行価格500,000円、資本組入額250,000円
2000年3月14日	300	2,700	300,000	540,000	300,000	450,000	有償・第三者割当 (オムロン他) 発行価格2,000,000円、資本組入額1,000,000円
2000年3月28日	1,000	3,900	50,000	790,000	500	650,500	第一回ワラント行使 発行価格50,000円、資本組入額50,000円 資本準備金組入等500円
2000年3月28日	200		200,000		200,000		有償・第三者割当 (電通ドットコム第一号他) 発行価格2,000,000円、資本組入額1,000,000円
2000年3月31日	480	4,380	480,000	1,270,000	480,000	1,130,500	有償・第三者割当 (オムロン他) 発行価格2,000,000円、資本組入額1,000,000円
2000年4月1日	100	4,480	5,000	1,275,000	15,000	1,145,500	(株)パラダイスウェア吸収合併 (4:1)
2000年6月20日	8,960	13,440	-	1,275,000	-	1,145,500	株式分割 (1:3)
2000年12月21日	1,300	15,340	773,500	2,405,500	900,900	2,462,200	有償・国内一般募集 (店頭登録) 発行価格1,400,000円 (引受価額1,288,000円、 発行価額1,190,000円)、資本組入額595,000円
	600		357,000		415,800		有償・海外私募 (店頭登録) 発行価格1,400,000円 (引受価額1,288,000円、 発行価額1,190,000円)、資本組入額595,000円
2001年8月24日	15,340	30,680	-	2,405,500	-	2,462,200	株式分割 (1:2)

14 . ストックオプション (新株引受権)

第1回ストックオプション (2000年2月22日決議)

* 付与者並びに付与株数

代表取締役社長	堀主知口バート	88株
取締役副社長	真田 哲弥	50株
専務取締役	岩井 陽介	40株
取締役	中島 謙一郎	10株
取締役	立石 知雄	5株
従業員 37名		47株
合計		240株

(注1)

* 発行価格

2,000,000円

(注2)

* 権利行使期間

2002年3月1日から2005年2月28日まで

第2回ストックオプション(2000年5月31日決議)

* 付与者並びに付与株数				
	従業員 49 名	合計	126 株	(注3)
* 発行価格			666,667 円	(注4)
* 権利行使期間			2002年9月1日から2005年8月31日まで	

第3回ストックオプション(2001年6月28日決議)

* 付与者並びに付与株数				
	代表取締役社長	堀主知口バート	170 株	
	取締役副社長	真田 哲弥	120 株	
	専務取締役	岩井 陽介	80 株	
	常務取締役	中島 謙一郎	70 株	
	取締役	山下 伸一郎	50 株	
	取締役	吉川 友貞	50 株	
	取締役	稲荷 幹夫	50 株	
	取締役	立石 知雄	10 株	
	従業員 46 名		200 株	
	合計		800 株	(注5)
* 発行価格			452,566 円	
* 権利行使期間			2003年9月1日から2008年8月31日まで	

(注1) 2000年6月20日及び2001年8月24日の株式分割、並びに退職者の発生の結果、合計1,362株となっています。

(注2) 2000年6月20日及び2001年8月24日の株式分割の結果、発行価格は333,334円に調整されています。

(注3) 2001年8月24日の株式分割及び退職者の発生の結果、合計138株となっています。

(注4) 2001年8月24日の株式分割の結果、発行価格は333,334円に調整されました。

(注5) 退職者の発生の結果、合計782株となっています。

7. その他

1. 資金調達の状況

当社は、2001年9月に安定資金保有を目的として、銀行3行より合計500百万円の短期借入れを実行しました。また、子会社である株式会社ケイ・ラボラトリーでは、2001年12月に運転資金保有を目的として、銀行2行より合計200百万円の短期借入れを実行しました。

2. 四半期決算日以降に生じた会社の状況に関する重要な事実

該当事項はありません。

3. 従業員の状況(2001年12月31日現在)

区 分	管理部門	企画部門	研究開発部門	技術部門	営業部門	合 計 (1)	株式会社ケイ・ラボラトリー (2)
従 業 員 数	45名	36名	10名	35名	20名	146名	55名
前四半期末比増減	2名	7名	1名	-	4名	6名	11名
平 均 年 齢	-	-	-	-	-	30.1歳	27.8歳
平均勤続年数	-	-	-	-	-	14.3ヶ月	6.3ヶ月

1 株式会社ケイ・ラボラトリーへの出向者2名を含んでおりません。

2 株式会社サイバードからの出向者2名を含んでおります。

4. 主要な事業所

本社 東京都港区虎ノ門四丁目3番20号

5. 借入先(2001年12月31日現在)

(1) 株式会社サイバード

借入先	借入金額
株式会社東京三菱銀行	350百万円
株式会社富士銀行	100百万円
株式会社三和銀行	50百万円
合 計	500百万円

(注) なお、三和銀行は2002年1月15日付で東海銀行と合併し、社名は「UFJ銀行」となっております

(2) 株式会社ケイ・ラボラトリー

借入先	借入金額
株式会社あおぞら銀行	100百万円
株式会社三和銀行	100百万円
合 計	200百万円

(注) なお、三和銀行は2002年1月15日付で東海銀行と合併し、社名は「UFJ銀行」となっております

6. 経営陣 (2002年1月29日現在)

取締役及び監査役は以下のとおりです。

地 位	氏 名	担当又は主な職業
代表取締役社長	堀 主知 ロバート	内部監査室管掌
取締役副社長	真 田 哲 弥	株式会社ケイ・ラボラトリー代表取締役社長
専 務 取 締 役	岩 井 陽 介	コンテンツビジネス部、マーケティング部管掌
常 務 取 締 役	中 島 謙 一 郎	モバイルビジネスソリューション部管掌
取 締 役	山 下 伸 一 郎	管理部管掌 株式会社ケイ・ラボラトリー取締役
取 締 役	吉 川 友 貞	経営企画室、国際ビジネス部、財務部管掌、情報開示担当
取 締 役	稲 荷 幹 夫	技術部、次世代戦略室管掌
取 締 役	立 石 知 雄	(オムロンマーケティングクリエイツ株式会社)
常 勤 監 査 役	内 海 淳	
監 査 役	竹 山 正 久	竹山公認会計士・税理士事務所
監 査 役	清 水 博	滝澤税理士事務所

7. 経営上の重要な契約等

(1) 携帯電話会社との契約

相手方の名称	主 な 契 約 内 容	契 約 日
株式会社NTTドコモ	「iモード情報サービス提供者契約」 NTTドコモに対するコンテンツ提供契約。提供コンテンツの権利は当社に帰属し、著作権の紛争等コンテンツに関する紛争は当社の責任にて解決する。	1999年 2月17日
	「iモードサービスに関する料金代行回収契約」 提供コンテンツの情報料を、NTTドコモが当社に代わって利用者より回収することを目的とする契約。	1999年 2月17日
J-フォン株式会社	「コンテンツ提供に関する基本契約」 J-フォンに対するコンテンツ提供契約。提供するコンテンツの権利は当社に帰属し、著作権の紛争等コンテンツに関する紛争は当社の責任にて解決する。	1999年11月29日
	「コンテンツ提供に関する個別契約」 『Myドクター』『お出かけ電話帳』に係るコンテンツを当社がJ-フォンに提供するための個別契約。	1999年12月10日
	「債権譲渡契約」(グループ各社分) 提供コンテンツの情報料金債権を当社よりJ-フォンに譲渡するための契約書。	2000年 1月20日
KDDI株式会社	「EZインターネットにおける情報提供に関する契約」 KDDIに対するコンテンツ提供契約。提供するコンテンツの権利は当社に帰属し、著作権の紛争等コンテンツに関する紛争は当社の責任にて解決する。	2000年 2月 1日
DDIポケット株式会社	「情報サービスの提供及び情報料回収代行に関する契約」 DDIポケットに提供するコンテンツの情報料を、DDIポケットが当社に代わって利用者より回収することを目的とする契約。	2000年 3月 8日

(2) コンテンツ制作・業務提携に関する契約

相手方の名称	主 な 契 約 内 容	契 約 日
株式会社アトラス	「業務提携に関する基本契約」 画像を利用したコミュニケーションサービス『プリネット』に関し、使用するプリネットサーバの開発・運用は当社が、プリネット端末の開発・製造・メンテナンスは株式会社アトラスが主体となって行う。	1999年9月29日
株式会社明響社	「携帯電話・PHSを利用したゲームソフト等オンライン販売サービスに係る業務提供契約」 モバイルコマースサービス『TVパニック』に関し、企画・開発・運営は当社が、ゲーム情報の提供・電子商取引については株式会社明響社が主体となって行う。	2000年 1月11日
株式会社ゼンリン	「NTTドコモ『iモード』を利用した地図情報サービスにかかる協業推進・業務委託契約」 携帯端末向け地図情報サービス『ゼンリン携帯マップ』に関し、開発・運営は株式会社ゼンリンの委託により当社が、地図情報の提供は株式会社ゼンリンが主体となって行う。	2000年4月25日
エノテカ株式会社	「NTTドコモ『iモード』を利用した情報提供サービス『ワインショップエノテカ』に係る業務提携契約」 モバイルコマースサービス『ワインショップエノテカ』に関し、サービスの企画・開発・運営は当社が、ワイン情報の提供・電子商取引についてはエノテカ株式会社が主体となって行う。	2000年 6月 1日
株式会社世界文化社	「『懸賞パズラー』に係るパズル・ゲーム提供に関する基本契約書」 「iモード」向けパズル・ゲーム等の情報提供に関し、世界文化社はパズル・ゲームに関する情報提供を、サイバードはシステム開発・コンテンツ運用を主として行う。	2000年7月25日
株式会社扶桑社	「NTTドコモ『iモード』を利用した情報提供サービス「i-OL委員会出版局」に係る業務提携契約書」 「iモード」向けに「i-OL委員会出版局」に関し、株式会社扶桑社は主として情報提供を、サイバードは主としてシステム開発・コンテンツ運用を行う。	2000年10月2日
阪急電鉄株式会社	「『i宝塚歌劇』に関する情報・コンテンツ提供基本契約書」 「iモード」向け「i宝塚歌劇」に関し、阪急電鉄株式会社は「宝塚歌劇」に関する情報提供を、サイバードはシステム開発・コンテンツ運用を主として行う。	2000年10月19日
株式会社エイチ・アイ・エス	「携帯端末を利用した旅行情報通信サービスに係るシステム構築に関する契約書」 「iモード」向け「H.I.S.海外旅行ナビ」で利用するシステム開発に関する契約。	2000年12月1日
株式会社ファミマ・ドット・コム	「『ファミマ i』に関するシステム開発委託基本契約書」 「iモード」向け「ファミマ i」にて利用するシステム開発に関する契約。	2000年12月1日
	「『ファミマ i』システム運用に係る契約書」 「iモード」向け「ファミマ i」のシステム運用に関する契約。	2001年2月4日
株式会社ケイ・ラボラトリー	「携帯端末向け情報提供サービス提供に係る協業に関する基本契約書」 携帯端末向けコンテンツの企画、開発、システム運用につき、包括的な協業に係る契約書。	2001年1月1日
New World PCS Limited (香港)	「Agreement」 香港New World PCS Limitedの香港でのモバイル・インターネット・ビジネスに関し、サイバードがコンサルティング等を行い、共同での香港市場向けコンテンツ及びサービス提供を行う。	2001年8月20日
株式会社電通	「『すぐメル TM 』サービス利用権等付与に関する契約書」 携帯電話対応の簡易URL取得サービス「すぐメル TM 」に関し、株式会社電通のクライアントへ株式会社電通が継続して利用権を付与する。	2001年9月28日
ヤフー株式会社	「『Yahoo!Photos』のモバイル展開に関する協業に係る契約書」 ヤフー株式会社の提供する「Yahoo!Photos」のモバイル展開に際し、サイバードの提供する画像を利用したコミュニケーションサービス「プリネット」の機能を提供するなどの協業を行うための契約書。	2001年11月26日

(3) その他

共同開発に関する契約

相手方の名称	契 約 内 容	契 約 日
株式会社ウィップス	「高負荷テスト用ツール・ソフトウェア共同開発契約」 WWWサーバ向け高負荷テスト用ツール・ソフトウェアの共同開発に関し、両者協議のうえ仕様を決め、プログラミング作業はウィップスが行う。	2000年 1月 1日
株式会社ウィップス	「共同出願に関する契約」 高負荷テスト用ツールに係る発明に関し、特許権は共有とし、共有割合はそれぞれ50%。出願特許の実施は当社が単独で行い、当社は別途定める実施料をウィップスに支払う。	2000年 6月 1日

8. リスク情報

以下において、当社の事業展開上のリスク要因となる可能性もあると考えられる主な事項を記載しております。また、必ずしも事業上のリスクに該当しない事項についても、投資判断において重要と考えられる事項については、投資家に対する情報開示の観点から積極的に開示しております。なお、当社は、これらのリスク発生の可能性を認識した上で、その発生の回避及び発生した場合の対応に努める方針ですが、以下の記載は当社の事業リスクを必ずしも全て網羅するものではないものではないことをご留意ください。

1. コンテンツ事業に関するリスク

(1) 外部委託先からの情報提供に依存したコンテンツがあることについて

当社は外部委託先からの情報提供に依存したコンテンツを有しておりますが、取引条件を含め、情報提供先との関係が必ずしも現状通りに保たれるという保証はありません。情報提供料の上昇等取引条件の改定状況及び情報提供先との関係変化によっては、当社の事業戦略及び経営成績等は悪影響を受ける可能性もあります。

(2) 特定取引先への依存について

当社は、NTTドコモのiモード、KDDIのezweb、J-フォンのJ-SKY、DDIポケットのH”LINKに複数コンテンツを提供しておりますが、現状ではNTTドコモに対する売上が他移動体通信事業者に対するものよりも高くなっております。従いまして、NTTドコモの方針変更によって、当社の事業戦略及び経営成績は悪影響を受ける可能性もあります。

当社の総売上高に占める移動体通信事業者各社の構成比率は、以下の通りであります。

移動体通信事業者等	第4期 第3四半期	第4期 第2四半期	第4期 第1四半期	第3期 第4四半期
NTTドコモ	51.6%	49.8%	47.1%	39.8%
KDDI	14.4%	16.4%	17.2%	16.8%
J-フォン	19.4%	19.9%	20.9%	20.9%
DDIポケット	1.0%	1.6%	2.5%	2.9%
その他事業者	13.6%	12.3%	12.3%	19.6%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(3) コンテンツ/サービスの陳腐化について

当社が提供するコンテンツ/サービスは、技術革新と消費者嗜好の変化が激しいモバイル・インターネットの世界では必ずしもライフサイクルが長いとは言いきれず、投下資本を回収しきれないうちに商品価値を保つために追加投資を行わざるを得ない可能性もあります。

(4) 人気コンテンツへの依存について

当社は、幅広いジャンルの公式コンテンツを提供しておりますが、その中でも特に「着メロ」、「着キャラ」、「占い」、「ゲーム」、「コミュニケーション」等のジャンルのコンテンツに人気集中する傾向があります。人気コンテンツに何らかの不具合が生じた場合、当該コンテンツの会員数が減少し、当社の事業戦略及び経営成績に悪影響を与える可能性もあります。

2. 揺籃期事業に関するリスク

(1) モバイル・ビジネス・ソリューション事業

初期成長段階にあるモバイル・ビジネス・ソリューション事業への競合他社や関連事業者の参入、あるいは市場の急激な変化や成長の不確かさにより、当社の収益率が圧迫もしくは悪影響を受ける可能性もあります。

(2) 海外事業

当社の海外進出方針は、当該対象国における経済、政治、法律、文化、ビジネス慣習、競合企業の存在、為替、その他様々なカントリーリスク等によって、当社の業績が影響を受ける可能性もあります。

さらには、事前調査の予想を越える事象が発生した場合には、当該投資が想定通り回収できず、当社の業績に影響を及ぼす可能性も考えられます。

(3) 技術関連事業

子会社の株式会社ケイ・ラボラトリーでは、携帯電話に特化したソフトウェア・プラットフォームの研究開発及びライセンスを将来の大きな収益源とするべく、先行投資を行っております。現在の投資対象となっている研究課題等が世の中の動きから大きく乖離することがあった場合、投資を回収できなくなり、当社の業績に影響を及ぼす可能性も考えられます。

3. 財政状態及び経営成績に関するリスク

(1) 当社や業界の歴史が浅いことについて

当社は社歴も浅く、現在当社の主力事業となっているコンテンツ事業に関してもサービス開始から僅かな期間しか経過しておりません。従ってコンテンツ事業のみならず当社のビジネスモデルは未だ発展途上にあり、当社が想定する収益の見通しに相違が生じる可能性もあるほか、現在当社が予想していない支出や投融資が発生する可能性もあります。また、業歴が短いため、期間業績比較を行うために十分な期間の財務数値が得られません。

(2) 過年度の経営成績について

当社は設立以来、通期での利益を計上しておりません。

第2期・第3期の単体業績は以下の通りです。

	第3期 2001年3月期	第2期 2000年3月期
営 業 損 失 (百万円)	1,126	120
経 常 損 失 (百万円)	1,282	135
当 期 純 損 失 (百万円)	1,291	133
資 本 金 (百万円)	2,405	1,270
純 資 産 額 (百万円)	3,411	2,203
総 資 産 額 (百万円)	4,120	2,399

(3) 財務計画について

業界の状況の変化、当社の経営方針の変更等の事情により当初予定していたとおりにキャッシュ・フローを生まない可能性及び、当初予定していた通りに資金を投資又は運用できない可能性もあります。その結果、事業戦略及び経営成績等に悪影響を及ぼす可能性もあります。

(4) 四半期業績の変動について

当社が属するモバイル・インターネット・ビジネス業界は、事業環境の変化が激しく、また、当社の事業規模が小規模であることから、四半期ごとの業績に大きな変動が発生する可能性もあります。その場合、以降の経営に悪影響が及ぶ可能性もあります。

4. 投融資について

当社は携帯インターネットを軸としたビジネス展開を行っていく方針であり、その実現のために設備投資、子会社設立、合併事業の展開、買収等について国内外を問わず行うことも考えられます。当該投融資が当社の業績に与える影響を確実に予想することは困難であり、投融資額を回収できない可能性もあります。

(1) 子会社ケイ・ラボラトリーへの出資について

現在同社が有する技術優位性は、有力な他社新技術の登場等想定外の事態が生じた場合、必ずしも計画通りに事業展開が果たされるという保証はなく、同社の事業展開の状況によっては、当社財政状態及び経営成績等は悪影響を受ける可能性もあります。

(2) 関連会社サイバード・コリアへの出資について

サイバード・コリアの事業は、為替リスク、日韓両国政府の政策変更に伴う法規制等の制約、ビジネス方針や理解の違いからくる他の出資先との関係変化、物理的な距離の制約からくる管理上の問題等のリスクに晒されており、事業展開の状況によっては、当該事業の経営成績は予測しがたい影響を受ける可能性もあります。

当社の投資先は以下のとおりです。(2001年12月31日現在)

会社名	所在地	設立	事業内容	資本金	発行済株式数	サイバードの出資	
						持株数(株)	出資比率(%)
株式会社ケイ・ラボラトリー	東京都港区	2000年8月	情報処理関連	30,350万円	6,070	4,567	75.23
サイバード・コリア	韓国 ソウル特別市	2000年8月	情報処理関連	13億ウォン	260,000	70,000	26.92
ギガフロップス株式会社	東京都渋谷区	2000年2月	情報処理関連	6,170万円	810	120	14.81
株式会社カレッジコミュニケーションズ	東京都渋谷区	2000年4月	広告代理業	4,100万円	540	20	3.70
株式会社フルキャスト	東京都渋谷区	1990年9月	短期業務請負業	325,500万円	44,600	120	0.27

5. 子会社・関連会社との利益相反に関わるリスク

株式会社ケイ・ラボラトリーあるいはサイバード・コリアは、当社の100%子会社ではなく、当社との間で利益相反が発生する可能性もあります。従いまして、同社の事業展開の状況によっては、当社の経営成績等は悪影響を受ける可能性もあります。

6. 市場拡大に伴う諸リスク

(1) 携帯電話の普及度合に伴うリスク

当社事業の成長速度は、当社が提供するサービス等が利用されるプラットフォームすなわちインターネット対応携帯電話等の普及速度と相関関係があります。その普及度合に重大な変化が生じた場合には、当社の事業戦略及び経営成績は悪影響を受ける可能性もあります。

(2) 勝手サイトの拡大に伴う業績悪化リスク

当社は、自社コンテンツを各移動体通信事業者の公式メニュー上に掲載される“公式コンテンツ”として提供しておりますが、このメニューに載らない非公式サイト(いわゆる「勝手サイト」)の増加に伴い、公式コンテンツ全体のトラフィック量が減少する可能性もあります。その結果、当社の事業戦略及び経営成績等が悪影響を受ける可能性もあります。

(3) コスト上昇及び収入低下が同時に発生し得るリスク

市場の成長とともに、公式メニュー上の同種類のコンテンツによる競争激化が生じ、顧客獲得の為のマーケティングコスト及びコンテンツの品質向上の為の開発コスト上昇と利用料収入の低下が同時に生じる可能性もあります。その程度によっては当社の利益を圧迫し、事業戦略及び経営成績に悪影響を及ぼす可能性もあります。

7. 競争に関わる諸リスク

(1) モバイル・コンテンツ事業での競争に伴うリスク

競争事業者との競争により当社のシェアが損なわれ、あるいは価格競争による単価の低減により、財政状態及び経営成績等に悪影響を受ける可能性もあります。

(2) モバイル・ビジネス・ソリューション/コマース事業での競争に伴うリスク

当該事業分野でも他事業者との競争が激化しつつあり、競争の状況によっては、当社の事業計画に重大な影響を及ぼす可能性もあります。また、当社顧客自身が同事業へ参入し、当社と競争する可能性も否定出来ません。競争の状況によっては、当社の財政状態及び経営成績に悪影響を及ぼす可能性もあります。

(3) システム・インテグレーター等との競争に伴うリスク

システム・インテグレーション事業者やハード/ソフト提供会社等のIT事業者がモバイル・ビジネスの各分野へ進出し、市場の競争環境が一層激しくなる可能性もあります。競争の状況によっては、当社の財政状態及び経営成績が悪影響を受ける可能性もあります。

(4) 他携帯通信機器との競合に伴うリスク

インターネット対応携帯電話等以外の携帯通信機器の進歩により、インターネット対応携帯電話等の市場が脅かされる危険があります。その場合、当該市場に特化している当社の事業戦略が大きな影響を受け、財政状態及び経営成績は悪影響を受ける可能性もあります。

当社の競合として考えられる代表的な企業は以下の通りです。

競合分野	企業名
コンテンツ(総合)	(株)インデックス、(株)エムティアイ、日本エンタープライズ(株)
コンテンツ(着信メロディー)	ギガ・ネットワークス(株)、(株)エクシング、ヤマハ(株)、(株)第一興商、(株)セガ
コンテンツ(画像)	バンダイ・ネットワークス(株)、ジグノシステムジャパン(株)
コンテンツ(ゲーム)	(株)ナムコ、コナミ(株)、(株)セガ、(株)ドワンゴ、(株)ジー・モード、(株)ハドソン、(株)タイトー
モバイル・ビジネス・ソリューション	(株)メディアシーク、(株)インデックス、(株)エムティアイ、日本エンタープライズ(株)

8. 技術対応の遅れに関わるリスク

進歩の早いモバイル・ビジネスの世界では、市場の求める適正技術の適時投入が不可欠であり、適正技術への対応の遅れによっては、市場シェアと業界での先駆者としての地位が損なわれ、当社事業が悪影響を受ける可能性もあります。

9. システムダウンに関わるリスクについて

当社の事業は、ネットワークを通じてユーザーに24時間体制でサービスを提供していますが、自然災害や不慮の事故によりデータセンター等で障害が発生した場合には、当社サービスを提供することが困難となり、当社だけでなくユーザーや移動体通信事業者に対してさまざまな損害をもたらすこととなります。また、当社の管理し得ない性質を有するシステム障害の可能性も存在します。通常考えるセキュリティを掻い潜るハッカー等によるウイルスを用いた侵害行為の可能性も否定できず、侵害方法によっては当社事業に悪影響を及ぼす可能性もあります。

10. 不良端末回収に関わるリスクについて

不良携帯端末の回収が、当社コンテンツ会員数の伸び悩み、解約等につながる可能性もあります。その結果、当社コンテンツ事業の収入が低下することにより、当社事業や業績において悪影響を及ぼす可能性もあります。

11. 法的規制に関わるリスク

IT基本法等、事業者を規制対象とする現行法令・条例の適用と新法令・新条例の制定の状況によっては事業活動範囲が狭まることや監督官庁の監視、検査が厳しくなることが考えられます。また、事業者間における自主的なルール等が、当社の事業計画を阻害する可能性もあります。その結果、現在提供しているサービスの低下を招くことにより、当社事業や業績において悪影響を及ぼす可能性もあります。

12. 「オープン化」に関わるリスク

現在、各移動体通信事業者は公式コンテンツの管理を自主的に行ってまいりましたが、総務省による各移動体通信事業者に向けての各種規制の開放要請に関連して想定されるリスクの例としては、以下があげられます。

(1) ポータル・サイトの開放

ポータルの開放による非公式メニューの品質維持の実現性及び社会に与える影響は未知数であり、当社の提供するコンテンツ配信というサービス全体の評価を左右することもあり得ます。また、この開放が当社を含む公式サイト提供事業者の事業や業績、その他に重大な悪影響をおよぼす可能性もあります。

(2) インターネット接続事業 (ISP) の開放

ISPが移動体通信事業者以外に開放された場合には、現在各移動体通信事業者が運営している公式メニュー以外に、外部ISPが独自のポータルを開設する可能性もあります。その結果、当社を含む公式サイト提供事業者の事業や業績、その他に重大な悪影響をおよぼす可能性もあります。

(3) 料金回収代行の開放

現在、公式メニューに登録された公式サイトのみが料金回収の代行サービスを受けていますが、これが非公式サイトにまで適用された場合、社会道徳に反するサービスが横行する可能性もあります。その結果、産業自体の信頼性や社会性が疑われ、当社の事業や業績に重大な悪影響をおよぼす可能性もあります。

(4) UID (ユーザーID) の開放

現在、移動体通信事業者によって管理されているUIDが他事業者に開放されることによって、プライバシーの保護の観点から、モバイル・インターネット産業に対する信頼が薄れ、産業自体の成長が停る可能性もあります。その結果、当社の事業や業績に重大な悪影響をおよぼす可能性もあります。

13. 事業体制に関わるリスク

(1) 特定人物への依存について

代表取締役社長堀主知口バート、副社長の真田哲弥、専務取締役岩井陽介及び常務取締役中島謙一郎は設立当初もしくは、初期段階より各事業分野において重要な役割を果たしております。真田哲弥については子会社ケイ・ラボラトリーの代表取締役社長を兼任しており、同社の経営方針や戦略の決定、事業推進において重要な役割を果たしております。これらの4氏のうちいずれかが離職するような事態となった場合、当社の業績その他に重大な悪影響を与える可能性もあります。

(2) 組織の成長について

当社では、市場拡大とそれに伴う事業拡大に応じて人的・組織的または物的な体制の拡充を図って参りますが、これらを必要な時に適時確保できる保証はありません。逆に人的・組織的増強ができた場合でも、人員確保に伴う費用が増加して収益性の悪化を招き、経営成績が悪影響を受ける可能性もあります。

また、事業の成長に見合ったスキルセットを持たない構成員の能力を適切に教育していくことが必要になる場合、構成員の成長が事業の成長に追いつけない場合の教育等に関するコスト増と業務の非効率化等により、当社の経営成績、組織の成長が悪影響を受けることも考えられます。

14. 知的財産権の管理について

当社が使用する多種多様のプログラムは、インターネット上で無償配布されている基礎技術を改良もしくは組み合わせによって応用することにより当社で独自開発しておりますが、場合によっては第三者の知的所有権を侵害する可能性もあります。

また、特許権、実用新案権、商標権、著作権等の知的所有権が、当社の行うコンテンツ事業においてどのように適用されるか想定するのは困難であり、今後当社の事業分野における第三者の特許等が成立した場合、また当社事業分野において認識していない特許等が既に成立している場合、当該第三者より損害賠償及び使用差止め等の訴えを起こされる可能性、並びに当該特許に関する対価 (ロイヤリティ) の支払等が発生する可能性もあります。この場合、当社ビジネスの停止、もしくは業績に悪影響を与える可能性もあります。

15. 訴訟等の可能性について

当社はこれまで当社の事業に関連した訴訟を受けたことはなく、法的危機管理に対処する体制を社内に整えておりますが、事業の性格上、訴訟を受ける可能性もあります。訴訟の内容及び金額によっては当社の経営に影響を及ぼす可能性もあります。下記はその一例です。

- コンテンツ事業において、当社もしくは移動体通信事業者側のサーバ・ダウン等によりユーザーまたは移動体通信事業者に損失をもたらした場合
- コンテンツ内容により特定人物に対して損失をもたらした場合
- モバイル・コマース・サイトにおいて、取引上のトラブルが発生した場合
- システム構築・コンサルティング等のソリューション事業において、弊社の責による納期遅延、システムの不具合等により、顧客に損失をもたらした場合
- ユーザー情報管理の不徹底により、流出したユーザー情報が悪用された場合

16. その他

(1) 配当政策について

当社は設立以来、通期での利益を計上していないため、利益配当は実施しておりません。株主への利益還元については重要な経営課題と認識しており、経営成績及び財政状態を勘案し、利益配当の実施についても検討してゆく予定ですが、将来の業績如何によっては利益配当が行われない可能性もあります。

(2) 株式価値の希薄化について

当社は過去3回にわたり商法第280条の19に基づく新株引受権の付与に関する決議を行いました。それらの権利が行使された場合、理論上、株式価値の希薄化が起こり、当社株価に影響が出る可能性もあります。

(3) 株価の変動について

当社株式は発行量が少なく、流動性も必ずしも高いとは言えず、流通市場における株価変動リスクが相対的に高くなることがあります。株価の大幅な変動が、当社の資本政策の円滑な実施に影響を与える可能性もあります。そうした場合、当社の財務政策及び事業拡大計画に悪影響を及ぼす可能性もあります。

(4) ディスクロージャーについて

当社は、適時の重要情報開示を厳格に運用しておりますが、社内情報伝達の遅れ等により、重要情報の適時開示を懈怠する可能性もあります。その場合、当社株式の登録市場における売買停止、場合によっては内部者取引による証券取引法違反が発生する可能性もあります。

以上

(ご参考)

9. 四半期個別財務諸表等

(1) 比較貸借対照表(四半期)

(単位:百万円・単位未満切捨)

期 別 科 目	当 四 半 期 2001年12月31日現在		前 四 半 期 2001年9月30日現在		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
《資産の部》		%		%		%
流動資産						
現金及び預金	2,013		1,943			
受取手形及び売掛金	1,773		1,551			
たな卸資産	15		17			
そ の 他	147		123			
貸倒引当金	87		55			
流動資産計	3,862	74.3	3,579	72.3	282	7.9
固定資産						
(有形固定資産)	138	2.7	132	2.7	6	4.6
(無形固定資産)						
ソフトウェア	579		599			
ソフトウェア仮勘定	1		26			
そ の 他	0		0			
無形固定資産計	582	11.2	626	12.6	44	7.1
(投資その他の資産)						
投資有価証券()	344		346			
敷 金	252		251			
そ の 他	17		14			
投資その他の資産計	613	11.8	613	12.4	0	0.1
固定資産計	1,334	25.7	1,372	27.7	37	2.8
資産合計	5,196	100.0	4,951	100.0	244	4.9

関係会社株式を含んでおります。

期 別 科 目	当 四 半 期 2001年12月31日現在		前 四 半 期 2001年9月30日現在		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
《負債の部》		%		%		%
流動負債						
買掛金	362		294			
短期借入金	500		500			
賞与引当金	-		27			
未払金	469		344			
その他	21		20			
流動負債計	1,353	26.1	1,186	23.9	166	14.1
固定負債						
繰延税金負債	4		5			
長期割賦未払金	27		38			
固定負債計	32	0.6	43	0.9	11	25.5
負債合計	1,386	26.7	1,230	24.8	155	12.7
《資本の部》						
資本金	2,405	46.3	2,405	48.6		
資本準備金	2,462	47.4	2,462	49.7		
欠損金	1,063	20.5	1,153	23.3		
その他有価証券評価差額金	6	0.1	7	0.2		
資本合計	3,810	73.3	3,721	75.2	88	2.4
負債及び資本合計	5,196	100.0	4,951	100.0	244	4.9

(2) 比較損益計算書(四半期)

(単位:百万円・単位未満切捨)

科 目	当 四 半 期 自 2001 年 10 月 1 日 至 2001 年 12 月 31 日		前 四 半 期 自 2001 年 7 月 1 日 至 2001 年 9 月 30 日		増 減	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	増減率
売 上 高	1,761	100.0	1,603	100.0	157	9.8
売 上 原 価	971	55.1	774	48.3	196	25.3
売 上 総 利 益	790	44.9	828	51.7	38	4.7
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	698	39.7	619	38.6	79	12.9
営 業 利 益	91	5.2	209	13.1	118	56.5
営 業 外 収 益	2	0.1	2	0.1	0	4.6
営 業 外 費 用	2	0.2	1	0.1	1	145.4
経 常 利 益	90	5.1	210	13.1	120	57.0
特 別 利 益	-	-	-	-	-	-
特 別 損 失	-	-	1	0.1	1	100.0
税 引 前 四 半 期 純 利 益	90	5.1	209	13.0	118	56.7
住 民 税	0	0.0	0	0.0	-	-
法 人 税 等 調 整 額	-	-	-	-	-	-
四 半 期 純 利 益	90	5.1	208	13.0	118	56.9

売上構成

(単位:百万円・単位未満切捨)

品目別	当 四 半 期		前 四 半 期		増 減	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率
モバイル・コンテンツ	1,565	88.9	1,438	89.7	126	8.8
モバイル・ビジネス・ソリューション	171	9.8	160	10.0	11	7.4
海外ビジネス	23	1.3	4	0.3	19	430.7
技術関連ビジネス	-	0.0	-	-	-	-
合 計	1,761	100.0	1,603	100.0	157	9.8

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 「技術関連ビジネス」とは、主に技術開発・ライセンス事業であります。

四半期個別財務諸表作成の基本となる重要な事項

<p>1. 資産の評価基準及び評価方法</p>	<p>(1) 有価証券 子会社株式及び関連会社株式 移動平均法による原価法 その他有価証券 時価のあるもの：四半期決算日の市場価格に基づく時価法 (評価差額は全部資本直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定しております。) 時価のないもの：移動平均法による原価法</p> <p>(2) たな卸資産 商品 移動平均法による原価法 仕掛品 個別法による原価法</p>
<p>2. 固定資産の減価償却の方法</p>	<p>(1) 有形固定資産 定率法によっております。 なお、主な耐用年数は次のとおりであります。 建物 10～15年 器具及び備品 5～6年</p> <p>(2) 無形固定資産 ソフトウエア(自社利用) 定額法によっており、耐用年数は3年であります。</p>
<p>3. 引当金の計上基準</p>	<p>(1) 貸倒引当金 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。</p> <p>(2) 賞与引当金 従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、賞与支給見込額に基づき計上しております。</p>
<p>4. リース取引の処理方法</p>	<p>リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。</p>
<p>5. その他四半期個別財務諸表作成のための基本となる事項</p>	<p>消費税等の会計処理 税抜方式によっております。 なお、仮払消費税等及び仮受消費税等は相殺のうえ、流動負債の「未払金」に含めて表示しております。</p>

サイバードPコンテンツ一覧

	コンテンツ名	キャリア	サービス開始日	情報料	提供会社	紹介
1	ロボ ロボ (ゲーム)	NTTドコモ	iモード 2000/5/1 アプリ 2001/1/26	300円/月(*iモード アプリ共通)	株式会社サイバード	電動式的生命体「ロボ ロボ」と共に不思議な国々を旅するコミュニケーションゲーム。お茶目で可愛い彼らや他のユーザーと小粋な言葉のやり取りを楽しめます。「ロボ ロボ」との交流はキミに思いがけない楽しい展開を見せてくれるはず。アプリ対応版では通信時間がぐっと短縮され、パケット料が従来の1/2～1/3になり安心して遊んで頂けます！さらにセリフ連動アニメーション、フルカラー表示となっています。
2	あぶり待受時計屋さん (待受け時計)	NTTドコモ	アプリ 2000/1/26	200円/月	株式会社サイバード	携帯電話を自分だけの多機能時計にすることができる魅力的なサービスです。アナログとデジタル合わせて300種類以上もの豊富なデザインを用意し、全ての時計に便利な「カレンダー」、週間天気予報、「テレビ番組ガイド」を搭載しました。またオリジナルの時計を作成できる機能やそれをお友達に送ることができるギフト機能、特別プレゼント企画などもある、もりだくさんのアプリコンテンツです。
3	ゼンリン携帯マップ (地図&スポット情報)	NTTドコモ DDIポケット	iモード 2000/6/5 アプリ 2001/2/6 H" LINK 2000/12/8 (feel H"対応機種のみ)	(i) 300円/月(*iモード アプリ共通) (H") 30円/1表示、10円/続き検索	株式会社ゼンリン/株式会社サイバード	携帯端末上で簡単に検索・表示できるモバイル時代の地図情報サービス。表示地図は詳細市街図と全国を包括した道路地図の2種類を用意、いずれもランドマーク的な情報をアイコンとして表示するなど見易さにご配慮しました。エリアによる検索も可能です。アプリ版では、携帯電話初のベクトルデータ配信により拡大・縮小やスクロール・回転など、動きのある地図を実現。feel H"では位置情報機能を活用し、簡単な現在地表示・スポット検索が可能です。
4	懸賞パズラー (パズルゲーム)	NTTドコモ	iモード 2000/11/6 アプリ 2001/1/26	300円/月(*iモード アプリ共通)	株式会社世界文化社/株式会社サイバード	世界文化社が自信を持って提供する人気パズルを定期的に配信し、正解すると、毎月豪華な懸賞に応募出来ます。アプリ対応パズルには、これまでのモードでは実現の難しかった「お絵かきロジック」と「ナンバープレース」が登場。いつでもどこでもより本格的なパズルが楽しめるようになりました。月2回更新されるパズルは初・中・上級と3レベルを用意。セーブ機能を搭載し、プレーを途中で中断しても、続きから楽しめます。
5	鏡リュウジの心理占星術 (占い)	NTTドコモ	iモード 1999/12/1 アプリ 2001/6/4	200円/月(*iモード アプリ共通)	株式会社サイバード	鏡リュウジ氏が監修する本格的な占星術総合サイト。占いつきのグリーティングメール、鏡リュウジ先生が直接悩みに応えてくれる「悩み相談室」など、他の占いサイトにはない魅力一杯のサービスが満載です。アプリでは、キキメ族の時計機能付き「天使の護符」があなたの携帯の「お守り」に！更に鏡リュウジ氏からの「お告げ」が1日4回、あなたの携帯に届きます。運勢UPが一目でわかる「ラッキーカレンダー」もあります。
6	CoolSound (着信メロディー)	NTTドコモ J-フォン KDDI DDIポケット	iモード 2000/5/29 アプリ 2001/6/4 ezweb 2000/10/31 H" LINK 2000/11/25 (feel H"対応機種のみ) J-スカイ 2000/12/1	(i) A.300円 B.100円/月(*iモード アプリ共通) (ez) 10曲 315円(税込)/月 (H") カバー 30円/回 オリジナル 10円/回 (J) A.300円 B.100円/月	株式会社サイバード	「CoolSound」は、テクノ、Hip Hop、メロコア、MIXTURE、R&B/Hip Hop、名曲を揃えたSOUL & FUNKなど、コア度の高いセレクションとクオリティで音楽マニアを自負する人にこそ使ってほしい、そんな着信音を提供。最新曲の先行ダウンロードはもちろん、音楽イベントやレーベル特集など、いつも話題が満載。CoolSoundオリジナル着信音など、ここでしか聞けないレアな着信音も数多く揃えています。

サイバードPコンテンツ一覧

	コンテンツ名	キャリア	サービス開始日	情報料	提供会社	紹介
7	TFM着信メロディ (着信メロディー)	NTTドコモ J-フォン KDDI	iモード 2001/12/3 J-スカイ 2001/9/3 ezweb 2001/10/23	(i) 12曲 300円 3曲 100円/月 (J) 12曲 300円 3曲 100円/月 (ez) 12曲 315円(税込)/月 3曲 105円(税込)/月	株式会社エフエム東京 株式会社サイバード	TOKYO FMのオリジナル・ヒット・ランキングに連動！J-POPも洋楽も、最新チャートはもちろん、過去チャートの着信メロディも簡単にダウンロードできる！知りたい日付をクリックすると、その日のチャートが現れるから、欲しい曲が一目瞭然！その他、TOKYO FMのリcommended・ソングや人気番組連動の着信メロディも随々追加予定！楽曲リストを見るだけなら、情報料無料です！
8	プリネット (待受け画面)	NTTドコモ J-フォン KDDI DDIポケット	iモード 2000/4/18 J-スカイ 2000/8/1 ezweb 2000/9/20 H" LINK 2000/11/25 (feel H"対応機種のみ)	300円/月 (ez)315円(税込)/月	株式会社サイバード 情報提供/株式会社アトラス	プリネットは、お気に入りの写真を自動的に画面ピッタリの待ち受け画面に変換し、iモード、J-スカイ、ezweb、feelH"対応の携帯電話に送れるサービスです。写真は、パソコンからはYahoo!フォトを使って、カメラ付きケータイからはそのまま直接、さらにプリクラからも、ボタンひとつで全ての携帯にぴったりのサイズで送ることができます。
9	着キャラ！ (待受け画面)	NTTドコモ J-フォン	iモード 2000/8/1 アプリ 2001/9/17 J-スカイ 1999/12/10	(i) 100円/月(*iモード、アプリ共通) (J) 3キャラで100円/月 7キャラで200円/月	株式会社サイバード	既存のキャラクターに物足りなさを感じている人や、クールな画像、かわいい画像、楽しいアニメがほしい人に、選りすぐりの有名キャラクター：ハイジ、ベティブーブ、X-メン、スパイダーマン、ラムチョップ、スポン、ハーベイコミッククラシックス、トムトム、ポパイ、タンタン、キャスパーに、*新進気鋭の作家によるジャンル豊富なオリジナルデザイン・イラスト・アニメなどを、盛りだくさん提供しています。(オリジナルデザイン・イラスト・アニメはJ-フォンのみ)
10	Cool Screen (待受け画面)	NTTドコモ	iモード 2000/2/1 アプリ 2001/8/6	100円/月(*iモード、アプリ共通)	株式会社サイバード	Coolをキーワードに集めた画像を、「ピクトグラム」、「オリエンタル」、「タイボグラフィ」等の様々なジャンルから選んで自分のシーンに合ったイメージ画像を待ち受け画像に設定できます。アプリでの画像ビューアも追加され、見たいときにいつでも閲覧、パケット代も節約できます。あなたのお気に入りの画像にメッセージをつけてカードメールも送れます。
11	待受けつくるっ (待受け画面)	NTTドコモ	iモード 2000/10/2	200円/月	株式会社サイバード	簡単に自分だけのオリジナル待受け画像が作成できます。グリーンティングメール用の画像素材を用意した「メールをおくる」、写真画像をメインにした「写真でつくる」、イラストをメインにした「イラストでつくる」の3メニューから構成。お気に入りの画像は「カードフォルダー」に10枚までストックでき、自分が作った画像は、メッセージを付けてメールを送ることもできます。また、登録者全員にはオリジナル画像をプレゼント。
12	清水ちなみとOL委員会出版局 (情報)	NTTドコモ	iモード 2000/10/2	200円/月	株式会社扶桑社/株式会社サイバード	OLならではの、笑い、喜び、悲しみ、怒りを作品にして投稿し共感あふ、OLのOLによるOLのための投稿型コミュニティサイトです。ここに投稿された作品は「OL委員会」が優秀作品を選びサイト上で発表。さらに優秀な作品が集まったところで、それらを1冊の書籍として扶桑社から出版しようという初のiモード&書籍連動のサイトとなります。

サイバードPコンテンツ一覧

	コンテンツ名	キャリア	サービス開始日	情報料	提供会社	紹介
13	宝塚歌劇 宝塚歌劇 (情報 & コミュニティー)	NTTドコモ J-スカイ	iモード 2001/1/22 アプリ 2001/7/2 J-スカイ 2001/11/1	300円/月(*iモード アプリ共通) 300円/月(J)	阪急電鉄株式会社/株式会社サイバード	公演、チケット情報など宝塚歌劇団からの新着情報配信の他、スター画像を待受画面にでき、グリーティングメールに添付して交換も可能な「スター コレクション」、タカラヅカの名曲を着信音にできる「タカラヅカメロデー」、参加型コンテンツの「タカラヅカ投稿組」「タカラヅカカジノ」等、タカラヅカならではの楽しいメニューを数多く用意しました。NTTドコモのアプリにも対応しています。
14	ワインショップ エノテカ (情報 & コマース)	NTTドコモ	iモード 2000/6/1	300円/月	株式会社サイバード 情報提供 エノテカ株式会社	外食したレストランで気に入ったワインをその場でチェック 購入できるほか、買った後で銘柄について詳しく調べる、あるいはみんなに勧めたり、友人にプレゼントしたりといった、ワインを購入するだけでなく、ワインの楽しみを丸ごと提供するサービスです。人気のエチケットを待受画像にできたり、ワインランキング、ワイン占い、e-ソムリエ認定試験など、携帯電話で簡単に楽しめるサービスも満載です。
15	Popteen-Net (情報)	NTTドコモ	iモード 2000/7/3	190円/月	株式会社サイバード 情報提供 角川春樹事務所	10代、20代前半のおしゃれに敏感な女の子のための情報コミュニティサイト。雑誌「Popteen」が提供する最新情報「POP情報」に加え、大好評連載中のアンフィン先生の星占い「POP占い」、Popモデルのプライベート情報やファンメールが送れる「My POP」などのサービスを提供しています。アプリによるビューワーも追加され、待受画像の検索も簡単に、パケット代も節約できるようになりました。
16	スターダストiWEB (情報)	NTTドコモ	iモード 2000/2/1	300円/月	株式会社サイバード 情報提供 株式会社スターダストネット	常盤貴子、中谷美紀、松雪泰子、梅宮アンナ、純名里沙、高岡早紀、竹内結子、保坂尚輝、安藤政信等が所属するスターダストプロモーションのオフィシャル サイト。山口もえ、内藤陽子、REDのパーソナル ページでは、ここだけでしか見れないレア画像など、楽しいコンテンツが満載です。アプリによるビューワーも追加され、待受画像の検索も簡単に、パケット代も節約できるようになりました。
17	波伝説 (情報)	NTTドコモ	iモード 1999/2/1 アプリ 2001/6/4	300円/月(*iモード アプリ共通)	株式会社サイバード 情報提供 有有限会社サーフレジェンド	日本全国200ポイント、世界40ポイントの最新の波 / 気象情報を提供。How to Surfing、ショップ紹介、大会情報などサーファー ボディボーダー必見の便利メニューが満載。アマダス情報は、様々なアウトドアシーンで大活躍。COOLな待受画像やサーフブランド情報も好評です。アプリでは人気の「Reef」「BILLABONG」といったブランドロゴの待受け時計に、お気に入りのポイントの最新コンディションを自動更新します。
18	釣りキング (情報)	NTTドコモ KDDI	iモード 2000/5/1 ezweb 2000/9/13	(i)300円/月 (e) ¥15円(税込)/月	株式会社サイバード 協力 株式会社つり人社	毎日更新する全国各地の最新の釣果速報。天気予報も最大毎時更新。波の状態もOK! 全国の船宿やショップ、つり人社の協力のもと、新鮮で高品質な情報をお届けします。海、川を問わず、すべての釣りシーンをサポートする情報網と、人気雑誌「月刊「つり人」」、「Basser」、「Fly Fisher」の編集部が提供する情報「裏話」、一見の価値があります。

サイバードPコンテンツ一覧

	コンテンツ名	キャリア	サービス開始日	情報料	提供会社	紹介
19	TVパニックゲームストア (情報 & コマース)	NTTドコモ KDDI	iモード 2000/2/1 ezweb 2000/10/3	無料	株式会社明響社/株式会社サイバード	ゲーム CD・DVDソフトの購入・予約が可能! 商品はラクラク宅配受取り! 人気のソフトも予約することで確実に入手可能です。また、* 予約受付の先行告知などお得情報満載のメールマガジンや店頭で無料配布している*カタログで簡単ショッピング、レアな予約特典などを準備。*お近くのTVパニック店舗を登録して店舗からのお得情報もGetできます。ゲームショップチェーン 1のTVパニックが提供します。(このサービスについては、現在iモード版のみで提供中です。)
20	ねこの時間 (情報 & コミュニティー)	NTTドコモ	iモード 1999/12/10	200円/月	株式会社サイバード	「ネコQ&A」など猫を飼う上での便利な情報から、猫を題材にしたゲームや占い、ショートストーリーなどが満載。可愛い猫の写真が見れたり応募作品で集まった猫に関する川柳を発表するコーナーは毎日更新。猫好きな人が集まる憩いの場所あり、自分の猫を自慢する投稿コーナーあり。猫が好きなのはもちろん、猫を飼っていない人でも楽しめる猫に関する総合チャンネルです。
21	あなたの値段? (i) あなたの値段? DX (ez) (パーソナリティークイズ)	NTTドコモ KDDI	iモード 2000/8/1 ezweb 2001/7/5	(i)100円/月 (ez)1,210円(税込)/月 2.回数課金 52円(税込)/1日	株式会社サイバード	自分の価値を値段にしたら、あいつよりは高価なはず...!? 「あなたの値段?」は毎週出題される質問に答えてあなたの時価と順位を診断できるゲームです。ふたりの相性を鑑定する究極のカップリング適正ゲーム「カップルの値段」や、彼氏・彼女をズバリ診断する「恋人の値段」(*1)など、合コンや飲み会で使える診断ゲームがたくさん。順位が近い人とメッセージ交換もできるコミュニケーション機能もあります。(*2) *1,2はezwebのみでのサービスです。
22	近一便利ダイヤル (電話帳)	NTTドコモ	iモード 1999/2/22	無料	株式会社サイバード	休日、夜間の診療案内や忘れ物をした時、クレジットカードを紛失したときなどの緊急の問い合わせ先、道路情報やフライト案内などの生活やビジネスに役立つ連絡先一覧です。
23	近一便利メモ (便利情報)	NTTドコモ	iモード 1999/2/22	無料	株式会社サイバード	郵便料金表、印紙税額表、世界時計、イベントスケジュールなどの日常生活に役立つ情報を提供しています。また、度量衡自動変換、年齢早見変換などの便利な機能もついています。
24	塩月弥栄子の冠婚葬祭辞典 (便利情報)	NTTドコモ	iモード 1999/2/22	無料	株式会社サイバード	塩月弥栄子先生監修。いざという時に役立つ冠婚葬祭の知識や手紙を書くときに便利な時候の挨拶、熨斗紙の表書きや水引の形式などについて簡単に解説しています。
25	なんでも診断 (便利情報)	J-フォン	J-スカイ 1999/12/10	300円/月	株式会社サイバード	200題以上ものオモシロ診断が楽しめる「なんでも診断」も週3回新診断が追加。その他「毎日診断」や、「なんでも総研」など内容充実の診断コンテンツ。診断「グリーンティング」では、あなたのメッセージを付けて診断問題を友達にプレゼントすることができます。
26	MYドクター (便利情報)	J-フォン	J-スカイ 1999/12/10	無料	株式会社サイバード	様々な疾病、症状に対応する情報(症状を解説する「クリニック」、健康コラム「豆知識」家庭でできる応急処置「救急箱」の3つ)と、全国の病院検索機能を備えたサービスです。

サイバードPコンテンツ一覧

	コンテンツ名	キャリア	サービス開始日	情報料	提供会社	紹介
27	最強の海外情報 (情報)	J-フォン	J-スカイ 1999/12/10	300円/月	株式会社サイバード	各国の通貨や危険指数など国別基本データに加え、毎日更新する世界の流行情報など盛りだくさんに提供しています。クイズバラダイスでは毎月変わる世界各国の難問・奇問に全問正解すると海外特派員として現地取材できるチャンスがあたります。
28	スーパータロット占い(J) ウルトラタロット占い(ez) (占い)	J-フォン KDDI	J-スカイ 1999/12/10 ezweb: ezplus 2001/7/10	(J)200円/月 (ez)210円(税込)/月(*ezweb、ezplus共通)	株式会社サイバード	鏡リュウジ先生プロデュースによる今までにない斬新なイメージで、運勢、未来を占います。恋愛、勉強、仕事など、あなたが決断に迷ったら、このタロットカードがあなたの運命を誘います。タロット占いの決定版であるあなたの幸せをサポートします。J-スカイではフランスの有名画家「パブロパレーズ」、ezwebでは「クボマキ」・POMO TAROT(ブライアン・ウィリアムズ)のカードを使用!!
29	マトモアゼル愛 愛の星占い (占い)	J-フォン	J-スカイ 2000/9/1	200円/月	株式会社サイバード	日本を代表する西洋占星術学者として様々なメディアで活躍しているマトモアゼル 愛氏が監修。自分や相手の生年月日を登録することにより日々変化する惑星の動きをもとにした詳細な占い結果をタイムリーに見ることが出来ます。未来に起こる出来事を占う「今日の彼」、もし彼を恋人にした場合の「恋の適性度」など毎日、あるいはロングスパンの出来事を占える多彩なメニューが揃っています。
30	携帯つくろっ (着信メロディー)	J-フォン	J-スカイ 2001/12/3	200円/月	株式会社サイバード	文字を入力するだけで簡単に着信用ボイス「携帯」が作れて、それを友達にメールしたら今までとは一味違うメッセージが楽しめます。作った携帯を掲示板に投稿したらランキングに掲載されるかも?声の種類や雰囲気も変えられます。
31	秘密の電話帳 (便利情報)	J-フォン	J-スカイ 1999/12/10	無料	株式会社サイバード	携帯電話のメモリとは別に、サーバー上に住所録を作成できます。様々な情報が記録できるのに加え、第三者にデータを見られてしまう事もなく、さらに紛失や破損によりデータを失う危険もなくなります。訳ありの電話番号やプロフィールを絶対に誰にも見られたくない人へ…。あなたの秘密を確実に守ってくれます。
32	おでかけ電話帳 (便利情報)	J-フォン	J-スカイ 1999/12/10	無料	株式会社サイバード	お出かけの時にふと必要になる情報を満載した全国対応のとっても便利な電話帳です。番号を選択するだけで、そのまま電話をかけることができます。
33	@着キャラクラブ (待受け画面)	KDDI DDIポケット	ezweb 2000/6/1 H" LINK 1999/11/10	(ez) 各有名キャラ100円(税込)/月 オリジナル枠100円(税込)/月 (H") カラー： 各キャラ100円/月 オリジナル枠100円/月 モノクロ： 有名キャラ30円/1ダウロード オリジナル10円/1ダウロード	株式会社サイバード	既存のキャラクターに物足りなさを感じている人や、クールな画像、かわいい画像、楽しいアニメがほしい人に、選りすぐりの有名キャラクター、ベティブーブ、X-メン、ラムチョップ、ハーベイコミッククラシックス、ボバイ、トムトム、タンタン、キャスパーに、新進気鋭の作家によるジャンル豊富なオリジナルデザイン・イラストなどを、盛りだくさん提供しています。

サイバードPコンテンツ一覧

	コンテンツ名	キャリア	サービス開始日	情報料	提供会社	紹介
34	@着キャラ便利時計 (待受け時計)	KDDI	ezplus 2001/7/12	210円(税込) / 月	株式会社サイバード	あの@着キャラが待受け時計になりました。かわいいハイジ、ラムチョップ、キャスパーなどの有名キャラクターと着キャラオリジナルの「かわいい」、かわいい画像をたくさん用意しています。時計を起動した状態からボタンひとつで書き込めるメモ帳機能には、メモの内容に応じてかわいいアイコンを付けることもでき、キャラクター付きのカレンダーもワンタッチで見ることができます。携帯電話をもっと楽しく、もっと便利にするezplusコンテンツです。
35	ミニゲー 天国! (ゲーム)	KDDI	ezplus 2001/8/16	315円(税込)/月	株式会社サイバード	ezplus対応のミニゲーム配信サイトの決定版！会員登録するだけで、バラエティ豊かな楽しめezplus対応ミニゲームを自由にダウンロードして、いつでもどこでも、好きなだけ楽しむことができちゃうんだ。ちなみにゲームのラインナップは今後続々と追加されていく予定だからお楽しみに！それから、会員の方にはリクエストも受け付けちゃうから、ナイスなアイデアを持っている君は今すぐサイトにアクセスしてみよう！君の斬新なアイデアが明日の面白いゲームを生み出すかもしれない！
36	アイドルと恋しよっ (ゲーム)	KDDI	ezweb 2001/10/11 ezmovie 2001/12/3	315円(税込)/月(*ezweb、ezmovie共通)	株式会社サイバード	「アイ恋」はモバイルコンテンツ初の本格的体験型ドラマ(通称「モバドラ」)として開発されており、専用撮り下ろした数多くの実写映像がストーリー中にふんだんに散りばめられています。プレイヤーはコンテンツを通して、「いつでもどこでも好きなときに好きなことを」といった、従来のドラマでは表現し得なかった新たな「体験」を、文字通り手にすることが出来ます。さらに、ezmovieによる動画表現にも対応し、対応端末からアクセスすれば、よりリアルな体験を楽しめます。
37	シネマイマジカ (情報)	KDDI	ezweb 2001/12/04 ezmovie 2001/12/04	無料	株式会社サイバード 情報提供：IMAGICA	ezmovieで新作映画の映画予告編映像が見られる、これまでの映画情報サイトとは全く異なる新世代映画情報サイト。シネマイマジカなら、いつでもどこでも予告編を見られるから、街中でどの映画を見ようか迷った時にも便利です。全く新しいシネマライフを皆様にお届けする「シネマイマジカ」。新作映画情報満載だからezmovieに対応してない端末でも充実した映画情報が手に入ります。
38	@AJAチャッ友 (チャット&コミュニティー)	KDDI	ezplus 2001/7/6	210円(税込) / 月	株式会社サイバード	趣味や年齢などから検索してコミュニケーション仲間を探し、インスタントメッセージのやりとりやチャットをカンタンに楽しむことが出来ます。ユーザーはスキンデザインとして、かわいいキャラクターバージョンと、クールなデザインがかっこいいクールバージョンの2種類から1つを選択することができます。未使用時には、各デザインの待受け時計も自動表示されるので大変便利です。
39	@AJA (コミュニティー)	J-フォン KDDI DDIポケット	H" LINK 1999/4/2 ezweb 2000/2/1 J-スカイ 2000/9/1	(J) 300円/月 (ez) 300円(税込)/月 (H") 10円/回	株式会社サイバード	同じ趣味を持つ友達がほしい人や、仲間が集まった時に楽しく盛り上げたい人のためのコミュニケーションとエンターテインメントを複合した双方向型の総合情報サービスです。H"LINKでは、メル友探しからのほか、日替わりで更新する「今日のジंकクス」、「@AJA星占い」など、読むだけで笑えるネタやギャグ、投稿など、バラエティに飛んだエンターテインメントも配信中です。

サイバードPコンテンツ一覧

	コンテンツ名	キャリア	サービス開始日	情報料	提供会社	紹介
40	@AJAマイページ (ウェブサイト構築 & コミュニティ)	J-フォン KDDI DDIポケット	J-スカイ 2000/9/1 ezweb 2000/11/15 H" LINK 2000/12/1 (feel H"対応機種のみ)	(J) 200円/月 (ez) 210円(税込)/月 (H") 新規登録時150円 以降はメール送信、 ページ更新毎に10円	株式会社サイバード	自分専用のケータイホームページを簡単に作れるサービスです。プロフィール、日記帳、自分が夢中になっている事についてディープに語るフリーページ、掲示板、ホームページへの訪問者数分かるカウンターなど盛りだくさんなメニューと100種類以上の楽しいイラストを使うことができます。完成した「マイページ」で趣味の合う仲間と楽しくコミュニケーションしてください。
41	@AJA投稿パラダイス (コミュニティ)	KDDI DDIポケット	ezweb 2000/12/14 H" LINK 1999/4/2	(ez) 157円(税込)/月 (H") 10円/回	株式会社サイバード	週代わりで「トホホな体験談」ギャルトークなどの掲示板を設定し、ユーザーがおもしろい投稿を評価、その結果がリアルタイムで掲示板に反映されます。サイト内では、その結果を「得点」として表示するとともに、得点の高い人気投稿から順に紹介していきます。さらに毎週ポイントの高い優秀な投稿をピックアップし、「週刊@パラダイス」で紹介、投稿者には楽しい賞品をプレゼントします。
42	サーフGO!GO! (情報)	DDIポケット	H" LINK	10円/分	株式会社サイバード	「サーフGO!GO!」はサーファーや、これからやってみようと考えている初心者まで幅広く利用できるサービスです。

注) 本リストに含まれない小コンテンツが他に6個あります。

主なモバイル・ビジネス・ソリューション一覧
(第3四半期 2002年3月会計年度)

クライアント名	契約形態	概要
株式会社ファミマ・ドット・コム	企画 受託開発 運用	「ファミマi」に対する「産地直送対応(配送ロジックの改善)」並びに「ファミポート(キオスク端末)対応」の追加企画・開発・運用
株式会社明響社	運用 レベニュー・シェア	「TVパニック」の電子商取引システムの運用 利益分担契約
株式会社ゼンリン	企画 開発 運用 レベニュー・シェア	「ゼンリン携帯マップ」に対する「iエリア対応」並びに「地方メニュー対応」の追加企画・開発・運用
株式会社電通	販売提携	「すぐメル™」(マーケティング・ツール)の企画・開発・運用
大手機器メーカー	コンサルティング	独自ハードウェア技術の携帯電話市場への導入戦略のコンサルティング業務を受託
大手金融会社	コンサルティング	モバイル戦略の企画・立案